

# とらじいまの Tojinkyo 春

SSKA・No.201・2014 4.15

## おもな記事

特集／伊豆大島土石流被災地視察／……………1  
 東京都の災害対策(1)……………7  
 「私と東腎協」③④……………12・13  
 「活動のまど」……………14



 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会**  
**(NPO 東腎協)**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556  
<http://www.toujin.jp/> E-mail [info@toujin.jp](mailto:info@toujin.jp)

# NPO法人東京腎臓病協議会

## 第9回総会のご案内

第4回総会で決定したとおり、NPO東腎協定款に遵守し、正会員のみで第9回総会を左記のとおり東京都障害者福祉会館において開催します。

記

日時 2014年6月29日(日) 午前12時30分開場 ※正会員のみ  
 NPO法人東腎協第9回総会(13時00分から15時15分予定)  
 東京都障害者福祉会館・A1-3

交通機関  
 所在地 〒108-0014 東京都港区芝5丁目18-2  
 電話 03-3455-6321 FAX 03-3453-6550  
 ・JR山手線・京浜東北線 田町駅下車徒歩5分  
 ・都営地下鉄浅草線 三田駅A7出口徒歩1分  
 ・都営地下鉄三田線 三田駅A8出口徒歩1分

※参加者は議案集を必ずご持参下さい。

# NPO法人東京腎臓病協議会

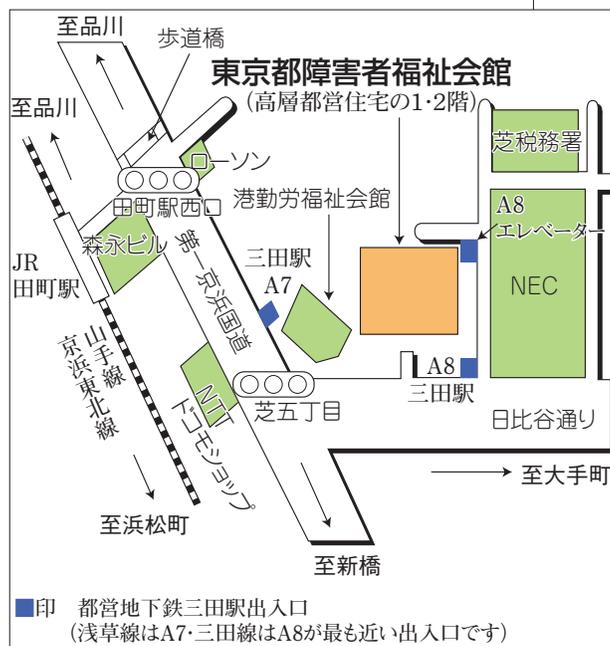
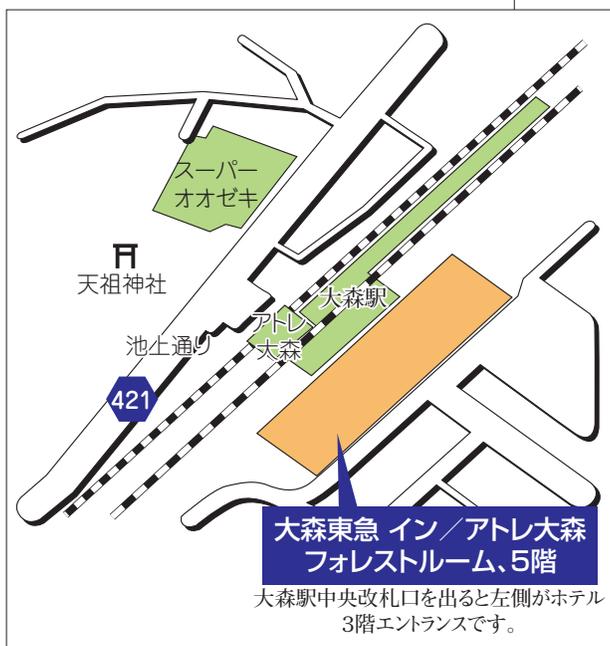
## 第4回大会のご案内

記

日時 2014年7月6日(日) 午前10時30分開場 ※会員どなたでも参加  
 NPO法人東腎協第4回大会(11時00分から14時20分予定)  
 大森東急イン・フォレストルーム TEL03-3768-0109  
 〒143-0016 東京都大田区大森北1-6-16 アトレ大森

交通機関

・JR京浜東北線 大森駅直結  
 ・JR品川駅より6分(2駅)  
 ・JR東京駅より17分  
 ・JR横浜駅より23分





# 伊豆大島の土石流災害

## 被災地視察と東京都の災害対策 大島腎友会幹部との懇談

2013年10月16日、台風26号の発生から、死者35人行方不明者4人という惨事となった伊豆大島の現地視察に、4ヵ月たった2月22日に東腎協から戸倉災害対策委員長、岸里事務局長、全腎協からは小野副会長が現地を訪れた。以下視察の詳細をご報告します。

### 目次 201号

特集	伊豆大島の土石流災害	1
	被災地視察と東京都の災害対策 大島腎友会幹部との懇談	
	想像を超える災害に備えるために①	
	東日本大震災学術調査報告書	7
	リレーエッセイ	9
	なかまのたより	10
	200号記念投稿 私と東腎協	12
	三河勝実	12
	山崎 弘	13

活動のまど	14
<b>追悼</b> 一ノ清明さんを偲んで	
糸賀久夫／金子 智	16
診療報酬改定について	17
透析バンザイ	18
事務局から	22
編集後記	22
表紙のことば	24



# 伊豆大島の土石流災害

## 被災地視察と東京都の災害対策 大島腎友会幹部との懇談

2013年10月16日、台風26号の発生から、死者35人行方不明者4人という惨事となった伊豆大島の現地視察に、4ヵ月たった2月22日に東腎協から戸倉災害対策委員長、岸里事務局長、全腎協からは小野副会長が現地を訪れた。以下視察の詳細をご報告します。

### 目次 201号

特集	伊豆大島の土石流災害	1
	被災地視察と東京都の災害対策 大島腎友会幹部との懇談	
	想像を超える災害に備えるために①	
	東日本大震災学術調査報告書	7
	リレーエッセイ	9
	なかまのたより	10
	200号記念投稿 私と東腎協	12
	三河勝実	12
	山崎 弘	13

活動のまど	14
<b>追悼</b> 一ノ清明さんを偲んで	
糸賀久夫／金子 智	16
診療報酬改定について	17
透析バンザイ	18
事務局から	22
編集後記	22
表紙のことば	24



## 透析患者の現状

透析者28名中27名は大島腎友会所属。19、20、21日の3日間で全員本土移動させることになっている。その中には車イスの方が4、5名いる。

移動先で一番多いのは東京都保健医療公社大久保病院（元都立大久保病院）、他都立広尾病院、日本赤十字社医療センター、一部親戚の方の近くのクリニック。

### ※大島医療センター

平成16年4月より医療法人社団 藤井医院は医療法人社団 藤清会となり、公設民営型医療機関である大島医療センター（島で唯一の有床診療所）の管理・運営を行っている。

## 現地視察の詳細

日時…2014年2月22日（土） 10:15～15:00（竹芝桟橋より東海汽船ジェット船で片道2時間）

### 面談者

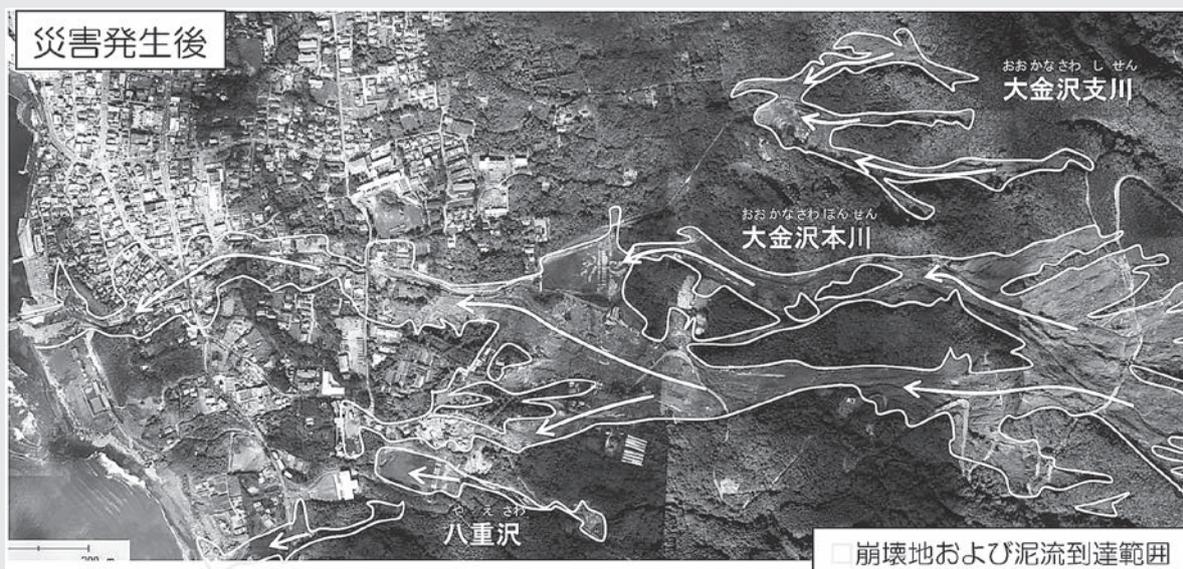
大島腎友会…中嶋相談役（前会長）

山口新会長（本年2月交代した）  
東腎協… 戸倉副会長（災害対策委員長）

岸里事務局長

全腎協… 小野副会長

主な行動…大島医療センター視察懇談・献花（故那智夫妻・大島町献花台）・被災地視察



東京都大島町では台風第26号の豪雨に伴い、火山地域で発生した（流木を伴う）大規模な泥流により甚大な被害が発生した。（内閣府）



○中島氏宅にて懇談・都営「つばき公園」視察

## 大島医療センター訪問

○川島主任（事務長不在のため主任看護師）と懇談。

○施設規模・10床。看護師4名・技師1名・准看護師1名。腎内専門医は月に一度来院し検査データチェックと問診を行う。施設は始

業8時〜17時に終了。日曜定休。検査は月一度。患者もその実態を容認。

○患者数・会員数：患者29名、会員数26名（2名は今後入会予定）。

○被災時の状況：台風26号時病院のすぐ側まで土石流が迫り、停電・断水の恐れと台風27号接近により医療センターの医師の判断で都の透析施設で透析すべきとして、大久保・広尾病院など5病院の受け入れを手配した（ネ



(上) 故那知ご夫妻の自宅跡にて献花黙祷  
(下) 大島町の献花台にて献花黙祷



ットワークを使用せず）。臨時宿泊手配は行政に協力を得た（安定してからは、入院・親族に頼るなどまちなち）。この手配はスムーズに運ばれたが、患者の中では移動を好まない者もあらわれて説得した。

## 献花黙祷（写真参照）

○故那知ご夫妻（ご主人が患者会会員。土石流に襲われ夫妻が被災し逝去。家屋も破壊され現在は家屋の跡形もない状況）の自宅跡にて献花黙祷。

○大島町の献花台（医療センターすぐ脇）にて献花黙祷。

## 被災地視察（前写真参照）

○最大の被災地（すでにある程度の整備が進行中）と未着手の被災地を視察。最大の被災地・見渡す限り土石流跡。元の姿は林間に家屋があったが、更地状態と残る家屋が破壊され残る。重機が入り整備中。土地は火山灰のようなさらさらして、ちょっとした風にも土埃が舞い上がる荒涼とした状態であった。

○整備未着手の被災地・大木が根元から折れ・大きな岩石が流れ着いた状況。下流に損壊した家屋が残る状況。

○砂防ダム・被災地そばに砂防ダムがあるが土石流を飲み切れず、基本的に低いほうに流れた状況。



いまだ整備未着手の倒壊した家屋（左）  
最大の被災地  
見渡す限りの土石流跡（下）



## 中嶋氏宅で 昼食の接遇を受け懇談

（氏の畑で採れた産物中心）大島の透析・患者会活動の歴史・望むこと等。

○大島における透析患者・町の人口約8,300人に対し29名（286名に1人）の透析患者は日本の平均を上回り多い。糖尿病患者からの透析は60〜70%と推測される。理由は「病院に行く習慣がない」「病院の状況（本格的には東京に行くしかない）」など。

○患者会活動の歴史・医療センターに透析施設の併設・専門医の来院など努力して実現した。患者会活動は根気よく・継続的に交渉すること、などの発言があった。

## 実情と望むこと

○シヨートステイ・場合によっては家族も介護できない状況もあり、患者を受け入れるシヨートステイを充実してほしい。大島では重度でない患者は面談後、軽症者は受け入れ可能となっている。

○老健建設・議員によっては理解があるが行き届かない。結果的に島民に負担が及ぶことを危ぶむ声もある。

○夜間透析・現在の透析医療の実施状況に患者が合わせている。現状では夜間透析は不可能と思う。当然就労にも影響がある。

○在宅透析…指導がない。腎内担当医師の常駐もない。

○問題点

○都と大島の間には区が存在すれば交渉も明確化できるが、都が相手ではどこと交渉すればとの感がある（大島の行政には身近なことは交渉できるが）。

○医師看護師の不足。

○大島の透析導入の多さに対する予防活動。

○透析患者への啓蒙（講師を派遣し講演会開催など）。

○東腎協との接点を増やしたい。

## 視察の感想

土石流の威力のすさまじさを改めて感じた。夜中停電中にこの土石流に襲われれば人間の力など抵抗は不可能である。大島におけるこの災害では透析患者1名・家族1名がお亡くなり、家屋も失う結果であったが、残る透析患者に関しては滞りなく手配できたことは不幸中の幸いであった。

懇談中に出た話だが、今後東京都で発生した場合、災害対策はどのように準備するか、については、「ほぼ困難ではないかと想像される」との発言が出ていた。都に在住する透析患者として記憶すべきことである。

報告者（小野、岸里）

○全腎協災害規定により見舞金を申請

○災害見舞金内訳（案）

死亡（本人）	100	000円
家屋全壊（建物の50%以上が損壊）	100	000円
家屋半壊（建物の20%以上50%未満が損壊）	50	000円
家屋一部損壊（建物の3%以上20%未満が損壊）	30	000円
床上浸水	30	000円
避難勧告（10日以上）	30	000円

以上、全腎協災害規定により死亡者1名、避難勧告（10日以上）22名を東腎協から申請し、大島腎友会会長より、各被災会員にお見舞金が配布された。

## 大島腎友会より御礼の手紙

先日は当腎友会会員への災害見舞金をありがとうございました。

おもいもかけない大きな災害に見舞われ、透析者全員が10日以上の大島外での避難生活を余儀なくされました。

精神的、肉体的負担はもとより、家族の付き添いを要した患者は、特に経済的負担も大きく、今回の見舞金は大変ありがたいもので、大きな励みになっております。

本当にありがとうございました。

東腎協、全腎協のかたがたのお骨折り、お心遣いに心から感謝申し上げます。

また、当会の中心メンバーであった、那智伴幸さんへの見舞金もご遺族のもとに渡し、大変感謝していらっしゃいました。ありがとうございました。

いまだ復興にはほど遠い大島ですが、なんとか島民力合わせてがんばっていきたく思います。

今後とも何かとお世話になることが多いとは思いますが、よろしく願いいたします。

2013年12月28日

大島腎友会前会長 中嶋 仁司



大島医療センターでの打ち合わせ

想像を超える災害に備えるために①

# 東日本大震災学術調査報告書

—災害時透析医療展開への提言—

東腎協  
災害対策委員長

戸倉 振一



3・11東日本大震災から3年が経過したところですが、昨年12月、

災害時に透析医療を確保するために、東日本大震災から学んだことを、今後の透析医療に生かしていくことを目的とし、透析医学会が中心となってまとめられた大変に貴重な調査報告書「東日本大震災学術調査報告書—災害時透析医療展開への提言—」が発行されました。そこで、この報告書から特に透析患者として心得ておくべき内容、また東腎協として取り組んでいかなければならない内容に着目し、どのような提言が行われているのかまとめたいと思います。

## 最も重要な基本的な視点

はじめに、透析施設の災害対策についてです。宮城県の透析施設では震度6・7を記録した透析施設が多数出たにもかかわらず、透析室内機械・設備の損傷による透析不能は、ほぼ皆無でした。これ

は、これまで醸成されてきた透析室内災害対策を宮城県の透析施設

全体で推進してきた結果によりです。このことから、将来の災害対策への最も重要な基本的な視点は、これまで醸成された災害対策をさらに徹底し、透析室の直接被害による透析不能を回避することにあるとしています。

なお、緊急離脱については事態の切迫度にもよるが、普段の診療において慣れている方法が安全であり、通常返血を第一選択とするが、火災やガス漏れ事故など事態が非常に切迫している場合の備えとして、最近開発された逆流防止弁付留置針や緊急離脱用回路ループ法などがあり、通常回収のバックアップ手段として推奨されています。

## 透析施設の自助の限界

東日本大震災における314の透析不能施設に対する調査では、透析施設の自助として整備した自家発電機や貯水槽は、燃料や給水などの補給という重大な場面で、共助・公助の支援を受けなければ成り立たないという、重大な要素を持つていました。このことから、当初の予想ほど役立つものとはなりませんでした。一般透析施設がこれらの非常用設備を整備しても、維持透析には不十分なレベルであったり、震災による故障が思った以上に多かつたり、専門のメンテナンス要員がいなかったことから、結局透析ができなかった場合が多くありました。また、災害時に他の医療機関や公共施設を差し置いて優先的に給水や燃料補給

を受けられなかったなど、一般透析施設が維持透析のための自助防災対策としてこれらを整備することの限界が露呈しました。

## 公共性を有する施設が活躍した

一方、宮城県の透析医療従事者からの報告では、災害拠点病院ないし、透析基幹病院の地域に唯一の拠点施設の9施設は、停電と断水に対する対応として、自家発電機を稼働させ、県や市からの給水車による給水サービスを優先的に受け、透析不能施設の支援を行っています。これらは、支援を優先的に受けるに足る公共性を有する施設であったことが共通していた。なお、透析不能となった49施設は停電・断水を克服できなかった一般施設が多数でした。

## 透析医療を確保するための方策

ライフラインが途絶した場合、全ての透析施設に自家発電機と貯水槽を完備し、重油と数十トンの水を常に備蓄しておくことはできないため、行政を中心とした支援体制が必要であるが、その対処の方法には次の2つが考えられます。

### ①地域透析拠点病院方式

### これまで醸成されてきた透析室内災害対策

- ・ベッドサイドコンソールのキャスターフリー
- ・患者ベッドのキャスターロック
- ・透析供給装置とRO装置※の壁面へのアンカーボルト固定
- ・透析供給装置とRO装置の壁面との接続部のフレキシブルチューブ採用

※RO装置：水道水から透析用水を製造する「水処理装置」

ライフライン途絶期間だけ地域透析中核病院に、十分な量の自家発電機を設置し、医療資源と水資源を集中投入します。そして順次ライフラインが復旧し透析再開した施設間でも共助を続けながら透析医療の確保を行います。

②域外移送方式  
透析医療における共助体制が十分に整備できていない地域で、巨大災害が発生した場合は、ライフラインが稼働している被災地外へ透析患者の移送を中心とした対処を行うことです。

### 座減症候群（※1）への対応

地域透析拠点病院と災害拠点病院を分離することも必要と提言しています。東日本大震災は津波被害がその主因を占めたため、過去の地震災害に比較して挫減症候群による急性腎不全が極めて少ないなど、急性期医療の比率がこれまでの震災より低かったという特徴を有していました。しかし、今後予想される、首都直下型地震などの大規模地震において、災害拠点病院が救急医療を担いながら慢性透析の地域の中心施設として機能することは過酷を極めます。地域

の災害対策のネットワーク構築にあたっては、慢性透析の拠点病院と地域災害拠点病院を分離して整備することが望ましいと提言しています。

### 災害時の体調管理

①透析患者の場合には、遠隔地への単独避難、透析施設への通院、避難所での食事制限、透析者とは言い出しづらい環境、生活リズムの他者との違いなどさまざまなストレスが重なることが予想されるため、十分な睡眠、心身の安静を確保する。

②災害後にもたらされる血圧上昇は必ずしも体液量の増加に伴うものでなく、ストレスによる交感神経緊張状態が強く関与する。避難所では透析患者であることを明言し、血圧や脈拍測定の間を借りられるようにし適切な降圧療法をしてもらえるようにしておく。

③一般的に避難所などで配給される食物が減塩食であることは殆どなく、かなり塩分を含んでいるものが多い。そのため食塩摂取の過

剰によるうつ血性心不全を起こす。もう一つは、いつ透析を受けられるかどうかの心配、あるいは配給食が塩分過多のため食べるのを過度に制限してしまい脱水状態になるので、溢水・脱水に注意する。避難所などは透析患者であることとを明言し、体重測定の間を借りられるようにしておく。

### 首都直下地震への対処

東京都には約400の透析施設が点在し、半数以上がビル診療（54・7%）であり、約6割の施設では自家発電機を有していないという特徴を持っている。また、電気、水道といったライフラインは、首都直下地震では広域で破綻する可能性が少なくない。現在、東京都で約3万人、南関東4都県で約8万人の透析患者がおり、耐

震機能に優れ被災を免れた一部施設だけで、震災直後の透析を維持することは困難である、という事実を透析関係者、透析患者、自治体政府が共通に認識として持つ必要がある。

なお、首都直下地震

が発生した場合、数百人から最大数万人の透析患者の移送と支援透析が必要になってくる可能性がある、東日本大震災においては、数百人程度の移送は行政を介さずに移送した実績があるが、それ以上の人数の移動について行政の関与は不可欠である。また、移送した場合の患者の避難場所、避難時の生活のサポートなど行政のサポートの必要性は高い。小規模な移送でも緊急車両の取り扱いをしてもらわなければ移送に支障を来す場合もある。また、被災地で透析を続行する場合も、施設への給電、給水に対する配慮が必要になる。このようなさまざまな事態に備えるべく、上記の地域組織と平時の行政と自治体の協議が必要である。

災害時には何があっても自身が通う透析施設と連絡をとり、指示を受けることが大原則ですが、以上の提言にあるように、想像を超える災害に備えるためには、東京都への要請のほかに最も身近な市区町村へも、普段からの働きかけが重要になります。次号では、各地域腎友会の取り組みを紹介したいとおもいます。

### ※1 挫減症候群

#### 【ざめつしょうこうぐん】

クラッシュ-シンドロームとも言う。広範囲にわたる筋組織の損傷により引き起こされる症候群。初期にはショック症状があり、急速に腎機能が悪化するため、透析が必要になる。

# リレー エッセイ

## 透析は僕たちにとって なくてはならないもの

僕は現在27歳ですが、最初に腎臓がおかしいのではないかと発覚したのは13歳ころ受けた尿検査でした。それまでは、小学校の尿検査で、引っかけられても検査結果は「問題なし」と言われてきました。なので、今回も「よくひっかかるなあ」程度にしか思っていました。ところが、検査結果は「問題あり」でした。そこで、紹介された病院へ行ったところ、

「うちより小児専門の腎臓内科があるから、そちらへ行つたほうがいい」と言われ、また紹介状をもらい、次は清瀬の小児病院へ行くことになりました。

僕は東京生まれと言っても、立川なので、立川から清瀬病院まで乗り換え、乗り換えて、二時間かかります。そこは、小児専門というだけあって、全国各地から患者

が来るそうで、北海道から来ている患者もいました。「うちはまだ近いほうだったのか」と驚いた記憶があります。月に一度の診察で、二年ほど通った14歳ころ清瀬病院が合併することになり、また違う病院を紹介されました。

次の病院は近場を希望したら、立川にある「共済病院」を紹介してもらい劇的に近くなりました。「初めからここで良かったのでは」と清瀬を紹介した人に言いたかったけど、近場になれたので我慢です。

共済病院へ通い10年近く経った

ころ、クレアチニンが徐々に高くなり、「数値が5を超えたら透析しましょう」と言われました。言われてから一年経たないうちに数値が5を超えてしまい、本格的に透析準備になりました。それまでに、透析がどういふものか説明されていたので、すんなり受け入れることができました。

まずは、シャントを作るために福生病院を紹介してもらい、生まれて初めて電気メスを体験しました。メスを入れるたびに機械が「ピー、ピー」と音がして意外に怖かったです。シャント作成後は透析

を受ける施設に一先ず、西国分寺にある「多摩総合医療センター」を紹介してもらい、初の透析を受けました。透析準備のときから「透析はスゴイ痛いよ」と脅かされていたので、ビクビクものでしたが、いざやってみると脅かされたのが良かったのか大して痛くもなくホッとしました。それよりも当時新米だったのか穿刺した女医さんのほうが僕より緊張していて、逆に「先生リラックス」と技師さんたちと笑ったことが良かったのかもしれません。

多摩総合医療センターで透析を受けている間、地元立川で受けられる透析を探したところ、今お世話になっている「すながわ相互診療所」を見つけました。車で送迎ありだったので即決しましたが、スタッフの皆さんも良くしてくるので、本当にこちらで透析を受けられることに感謝しています。

透析は辛いという方もいますが、僕たちにとって透析はなくてはならないものなので、透析医療を開発、発展した方々に感謝し、ここまでのネットワークを築いてきた全腎協および、東腎協の皆様にも感謝いたします。

## 清水 陽介さん



透析3年 (27歳)

NPO 東腎協理事会 オブザーバー

すながわ相互診療所



## 「小池会」忘年会

藤田吉彦  
(小池内科小池会)

昨年の年の瀬も押し詰まった12月21日18時より、小池会の忘年会が飯田橋のセントラルプラザビル20Fの「北海道」において開かれました。

小池会は会員数28名で施設は飯田橋駅近くにあり、朝7時から可能なフレックスタイムの透析と、親身なスタッフで評判のクリニックですが、例年12月には院長先生透析スタッフ、患者とで楽しい忘年会を欠かさず行っております。

当日は小池院長、スタッフの小林さん、細川さんに加え、東腎協から岸里事務局長、板橋編集長のご参加も得て、蟹料理に舌鼓を打

ち、様々な話題で盛り上がりました。

また初めての試みのビンゴ大会に、一同童心に帰り和気あいあいと賑やかなひと時を過ごし、それぞれに賞品を抱えて帰宅の途につきました。

小池会は忘年会以外にも、年に1〜2回、院長先生ご本人他お知り合いの先生による勉強会を実施しており、大変好評を得ています。今後会員が増えていくよう一同願っております。



小池会忘年会

## 勉強会&新年会

坂本悦男

(東海病院ひまわり会)

1月26日、東腎協理事会開催日と重なってしまったが、理事会より身近な仲間のいる「東海病院ひまわり会」のほうに当然優先事項と決めつけ、勉強会&新年会に専念した。

勉強会は午後1時から4時まで、新年会は5時からと時間を決め、場所は中村橋福祉ケアセンターを勉強会用に確保し、新年会は居酒屋「村さ来」を予約した。

勉強会は二部から構成し、第一部は介護施設のケアマネージャー、ヘルパーさんたちに案内を出して来ていただき「腎臓病患者の注意すべき生活とその理由」を中心にした腎臓病の基本の説明。第二部は患者同士の意見交換と生活リズム活性化の話し合い。と言う内容でありました。

我々も高齢化して、日常生活に介護する人々の手助けが必要となるケースが増えておりますが、腎臓病患者には日常生活の中で体重管理やらリン、カリウム等の摂取調整法など特に注意すべきことが



ひまわり会新年会

多々ありますが、介護の方々には他の障害の方々と同様の注意で良いと理解される方が居ないとも限りません。そこで我々も今一度生活の中で注意すべきことを思い返す意味を含め、病院側をお願いして基礎、腎臓病患者の注意すべき日常生活と介護して下さる方々の病气認識の深化を勉強した次第でした。

当初25名の部屋を確保したのですが、途中から手狭である程の盛況さが分かり、さらに隣接の部屋もあわてて確保し、何とか乗り切ることが出来ました。勉強会参加者総勢34名でした。第一部の基礎的な勉強を1時間ほど行った後、

第二部に入り各自の体験や自己紹介を話し合い、これがまた大いに盛り上がり、残余の時間があつという間に過ぎ、次の新年会へと流れて行ったのであります。

新年会につきましても、例年になく参加して下さり、会費三千元、飲み放題（これでいいのかわ？）に28名が出席。ひまわり会の3分の1以上の人が出席したこととなります。もちろん病院側から江本院長先生を始め栗山先生、中西師長も出て下さり、飲みすぎにチエックしていただくつもりでしたが、先生方がよく飲んでまして、今後の反省材料となりました。患者同士また病院側とのコミュニケーションが良くなり、日々の生活にも張りが出たものと感じております。

### 第九回川柳コンテスト

川柳係 井上 武  
(優人クリニック患者会)

練馬区の優人クリニックで患者会による第九回目の川柳コンテストが開催されました。今回のテーマは「元氣」で六十八句も応募がありました。

審査員は患者会役員と前回コン

テストの成績優秀者で、投票の結果、優秀作品には次の句が選ばれました。川柳では一位から三位を天地人と呼び、五客と続きます。

天 元氣な日毎日続く

夢を追う

久保光子

地 永生きでお国に悪いが

俺元氣

寿老人

人 楽天が元氣をくれた日本一

山口君子

五客 菊の鉢隠せ元氣な

孫が来る

菊之丞

五客 うちの元氣だけだ

アルツなの

寿老人

五客 来てうれし帰ってうれし

孫元氣

金子博光

五客 おしゃべりと食欲だけは

衰えず

丸山みね子

五客 姿より元氣が取り柄

我が女房

清水猛

透析クリニックには患者会があるクリニックと無いクリニックがあります。私は患者会が無いクリニックで八年、患者会があるクリニックで九年間透析を受けておりますが、患者会があるクリニックのほうが患者同士の交流があるため断然雰囲気が良いです。

毎週三回、四時間の透析をする場所ですから雰囲気の良いところで過ごしたいものです。

当患者会では講師を招いて勉強会をしたり、院長や医療スタッフとともに親睦会をしたり、慰安旅行等を毎年開催しています。

ハンデイを背負った者同士で楽しい活動をして癒され、励まされ、透析も辛いことばかりではないのだと実感できます。川柳コンテストもそのような主旨で開催されています。

ご支援ありがとうございます

ございました

嵯峨ミサ子  
(大島腎友会)

この度、大島町での台風26号災害の折は、貴腎臓病協議会から、お見舞金をいただき、厚く御礼申し上げます。

お陰様で、島外避難した会員も今月中に全員帰島できるとの話を伺っております。

私も会員の一人として、お見舞い金をお宅へお届けしましたが、皆様、感激と感謝の気持ちで受け取ってくださいました。

本当に貴重なお見舞金をいただ

き、大島腎友会の皆様にかわりまして、心からお礼を申し上げます。また、明日から病氣と上手に付き合いつながり、大島に住んでいて良かったと思える生活を頑張ります。

今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。  
平成25年12月28日  
敬具

### 投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、内容は問いませんので、何でもお寄せください。また会員さん訪問で出てみたい方、自薦他薦は問いませんので東腎協事務局までご連絡ください。併せてわたしたちの患者会も募集しています。



# 私と東腎協 ③



## 三河勝実さん (71)

高中醫友会 (透析12年6か月)

### ◆ 透析導入は

平成12年、仕事である旅行の添乗員として、ブラジル・サンパウロに同行した時、下半身がむくみ体調が不良となりました。その時は長時間飛行機に乗り、足の運動不足による血流不足のエコノミー症候群にかかったのだらうという認識で、別段の危機意識も持っていませんでした。

ところが平成13年7月、突然おう吐し、歩くこともままならなくなりました。体調自体は、体が重く仕事の疲れが蓄積し、日常生活も何とはなしにだるいという感じはしていたのですが、決して重い病気であるという気はしていませんでした。

とにかく病院に行ってみようと、近くの高島平中央総合病院に駆け込み、当時院長であ

りました麦倉先生に診療して頂きました。

ところが症状があまりにひどく、早速透析を開始。シャントを作成する時間もなく、首のところを切開し管を入れての透析でした。来院が一週間も遅れていれば、命はなくなっていただろうと言う状態だったようです。一つしかない命、本当にこの駆け込み透析により守られ現在に至っています。透析に勝るものはないと心から感謝しております。

### ◆ 人生いつも旅人か？

私は「あまちゃん」のロケ地となった、岩手県久慈市に生まれ育ちました。昭和37年19歳で「あー、上野駅」に降り立ち（井沢八郎の歌より2年早かったが）、以来52年間東京に居を構え、添乗員の仕事をしながら故郷をしのび、心はいつも北国へ。若き頃より現在

に至るまで「ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみの中にそれを聴きにゆく」と言う啄木の歌に涙を流し、「帰りたいけど帰れない」と口ずさみながら北を望む。

4時間を超える透析の間、過ぎし時間を追憶し、心の中は故郷そして旅して巡った世界の各地を夢見る。透析が終わり、現実に戻ると血圧が下がり、また生きていることを実感。都会の便利で安心できる医療を享受しながら夢はあちこち。私は人生を旅する中途半端な透析宇宙人か!?

### ◆ 諸先輩の努力による、今の透析環境に感謝しよう

現在、都営三田線西台駅より1分の「西台ロイヤル診療所」で透析を受けております。ここは、高島平中央総合病院附属ですので、体調が悪い時はすぐに対応してもらえます。私は昨年10月に妻を亡くし、独り身の寂しさを親切な看護師さんや技師さんたちの、温かい雰囲気な慰められまた力づけられ感謝しております。そして、金銭の負担なく週3回の透析が出来ることには、本当に先輩諸兄等の努力の結果と深く謝意をする次第です。

現在の透析環境が当たり前と思っている患者の方々がたくさんいます。そのような患者さんたちに、一緒に働きかけて一人でも多くの人が今の状況を維持、継続できる運動に加われるようにしようじゃありませんか。安心な透析のために。

# 私と東腎協 ④



山崎 弘さん (71)

東海病院ひまわり会 (透析22年)

◆ 職場の検診で…

昭和40年、当時勤めていた職場（不二家）の検診で、「尿に蛋白が出ている」と言われました。当時まだ22歳でした。その後、毎年の検診の都度、血圧が高いと指摘を受けていましたが、酒は飲むし普通の生活をし、組合の活動にも真面目に取り組んでいました。当然腎臓病の自覚症状などありませんでした。平成4年、さすがに体の状態が悪くなり透析に入りました。49歳の時です。子供たちは20歳、18歳、10歳という年齢でした。経済的なことはどうすれば良いのだろうか？と考えると、お先真っ暗という気持ちでした。透析を始めてすぐに病院から説明を受け、腎臓病の治療に関しての手続きや制度を聞き安心したのです。

◆ 透析医療諸制度に感謝！

それは、透析医療の国の負担による無料化に近いものと、障害者年金支給等でした。これら制度の存在があり、日本に生まれて良かったと今でも思っています。私は企業で働いていた時に組合活動にも関心があり、自分たちの要求を、相手である会社側に理解させて実施させるには、多大な努力が必要だということを知っていましたので、患者の立場に立った透析患者のこの制度を作り上げるには、本当に大変な苦勞を先人の方々がしたのだろうと思っています。

◆ 患者会の会長をしています。

現在、私は練馬区の東海病院で透析をして

◆ 練馬地域腎友会の結成をめぐります

おり、患者会は「ひまわり会」といいいます。東腎協の正会員であり、「ひまわり会」の会長も務めさせてもらっています。自分の透析に至った経緯、その時の心配事、そして現在に至るまでの間、何と言っても腎臓病という不治の病気にもかかわらず、生き続けて来れたのは、患者同士が力を合わせて、自分たちの生きる権利を行政に働きかけてきたことの結果だと思っています。それだけに今、新規に透析を開始した方が東海病院に来られると「ひまわり会」に入会して、会費を納めて下さるようお願いしております。

腎臓病患者の連携はまだ弱いと思っています。そこで、今年の4月に開く「ひまわり会」の役員会の中で、練馬区内に腎友会の設立構想を提案する予定です。私どもの東海病院だけでなく、桜台クリニック、土支田クリニック、高松病院、大泉優人クリニック等の施設の患者会を中心に、他の施設にも声をかけていこうと考えています。

私どもは、自分たちの透析環境の一層の向上のために、自分たちのできることを着実にやっていきます。まずは「ひまわり会」の楽しい運営、患者同士のコミュニケーション、病院との意思疎通、そして地域の患者会との交流をめざしてこれからも頑張っていきます。

# とうじんきょう 活動の まど

## 腎内科クリニック世田谷 患者会講演会を開催

3月16日(日) 世田谷区烏山区民  
センター

当日は晴天にも恵まれ他院の患者さんも含めて65名を越える多くの方にご参加いただきました。  
講演会では技士長のご講演と兵庫の「坂井瑠実クリニック」坂井瑠実理事長をお招きし、ご講演をいただきました。

坂井先生には「透析医療40年を経ているきたもの」、「長時間透析は有用か?」をテーマにお話を



いただきました。

透析療法の歴史を辿りながら現在の透析療法に至るまでの道のり、そして阪神淡路大震災でのご経験を写真を交えながら分かりやすくお話をいただきました。

終了後の質疑応答では、参加者の方からあった多くの具体的な質問に丁寧にご回答をいただきました。長きに渡り透析医療に携わっていらっしゃる坂井瑠実先生のお話は、内容はもちろんのことその一言一言にとっても重みがあり、大変貴重な勉強をさせていただいた講演会でした。

## 第43次国会請願に 全国から214名が集結

第43次国会請願は、3月20日衆議院第一議員会館に全国の県の代表が集結して開催されました。紹介議員290名、来場議員30名、秘書60名、会員参加数214名(東京7名)でした。



集会に来場された議員の方々

### 国会請願紹介議員

会派	氏名	衆参
自民党	秋元 司	衆議院議員
自民党	平沢勝栄	衆議院議員
自民党	石田昌宏	参議院議員
民主党	長島昭久	衆議院議員
公明党	高木美智代	衆議院議員
公明党	石田祝稔	衆議院議員
公明党	竹谷としこ	参議院議員
公明党	山口那津男	参議院議員
共産党	笠井 亮	衆議院議員
共産党	田村智子	参議院議員
共産党	小池 晃	参議院議員

署名数は東京16,972筆(全腎協736、282筆)、JPA東京14,703筆でした。募金は東京1,452,750円(全国2,282,314円/3月20日現在)でした。



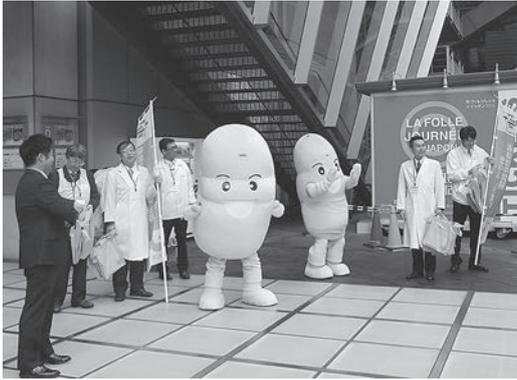
小池晃参議院議員

## 世界腎臓デー・シンポジウム

日時…3月13日(木)  
場所…東京国際フォーラム  
主催…厚生労働省

世界腎臓デーに合わせて、CKD（慢性腎臓病）に関する正しい知識及び腎臓病研究の最前線多くの国民に広く情報提供することを目的として、シンポジウムが開催されました。

シンポジウムに先立ち、東京国際フォーラム1Fでキャンペーン



世界腎臓デーキャンペーン

が行われ東腎協からも3名参加しました。

日本慢性腎臓病対策協議会

<http://j-ckdi.jp/jckdi/>

## 全腎協・一般社団法人への移行について

社団法人 全国腎臓病協議会

会長 今井 政敏

拝啓 日頃より会活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、1月17日(金)に内閣府公益認定等委員会へ諮問された当会からの移行認可申請について、1月24日(金)の同委員会において、認可の基準に適合すると認めるのが相当と答申されたことについて、内閣府公益認定等委員会事務局より連絡をいただきましたのでご報告申し上げます。

今後は、4月1日の一般社団法人への移行に向け準備を進めてまいります。

法人移行作業が遅れご心配をおかけしましたことについて心から

お詫び申し上げます。

全腎協は今後、一般社団法人として、コンプライアンスを順守し、様々な課題に会員の目線で取り組んでいきますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 第25回腎臓病を考える都民の集い

日時：3月16日(日) 午後2時～4時  
場所：都民ホール(都庁議会棟1F)  
参加者：195名(男性81名、女性85名、他29名)  
主催：NPO東京腎臓病協議会  
共催：東京都

主催者を代表して、NPO法人東腎協藤田吉彦会長が挨拶し、共催者として、東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課阿部敦子課長が挨拶しました。

第一部では、「CKD(慢性腎臓病)について詳しくなろう」腎臓をまもるために」を東京医科大学病院腎臓内科主任教授菅野義彦先生より、「CKD(慢性腎臓病)の食事療法」腎臓をまもるために今すぐできる食事の工夫」を女子栄養大学管理栄養士坂本香織先生よりご講演いただきました。

第二部では、山下吏良さん(元NHKアナウンサー)の司会・進行で、講師の菅野義彦先生、坂本香織先生への質疑応答していただきました。



菅野先生(右)坂本先生(左)



都民のつどい

## 一ノ清 明さんを偲んで

まさに「巨星墜つ」

元東腎協会長 糸賀 久夫

一ノ清明さんの突然の訃報に接し本当に残念でなりません。

告別式のメッセージ披露の中に「巨星墜つ」との表現がありました。まさにそのとおりの人だったと思います。透析歴44年目を迎え、享年76歳は、高齢の透析患者の中では最長記録ではないでしょうか。

東腎協結成から現在の相談役まで役員を続けてこられた人は、一ノ清さんが最後になつてしまい、結成当時の経験をもつ人はいなくなりました。一ノ清さんは、温和で誠実な人でした。いつも謙虚で献身的な姿勢は、多くの役員、会員に慕われていました。

東腎協が活動しはじめた頃の一時期、事務所がありませんでしたので一ノ清さんの自宅を事務局に提供して頂いた時ありました。一ノ清さんのこれまでの役職としては、東腎協では当初から常任幹事、そして副会長、相談役と長く歴任され副会長の時には、東腎協を代表して全腎協の幹事、運営委員、理事の重責を果たしてこられました。そのなかでも全腎協・関東ブロックのブロック長として長い間活躍され、各県の状況がそれぞれ違っていて難しいところを抜群の調整能力でリードして頂きました。

近年の一ノ清さんは、長期透析によるアミ

ロイドの合併症との戦いでした。苦しいときでも愚痴をこぼすことなく笑顔を絶やさない人と奥様からお聞きしております。透析導入当初の厳しい食事制限を乗り越え、44年もの長い間透析人生を共に歩んでこられたのも深い絆で結ばれた夫婦愛があつたからだと思っています。

一ノ清さんの先駆者としてのご指導は、今



日の東腎協、全腎協の歴史に残る礎となつております。長い透析人生本当にお疲れ様でした。

これまでのご恩に心から感謝申し上げます。どうぞ安らかに眠りください。

## 黎明期の透析治療の「語り部」

全腎協常務理事 金子 智

一ノ清明さんがご逝去されましたことに心

からご冥福をお祈り申し上げます。

一ノ清さんには、私が東腎協常任幹事をしていた時に初めてお会いし、患者会活動について一から教えていただき育てていただきました。当時は、常任幹事会が終わると必ず近くの喫茶店に立ち寄り、色々な話を聞かせていただきました。特に昭和40年代の透析環境の劣悪さの話はとても想像のつかない厳しいものでした。後に全腎協の役員に就任され長く一緒に活動をさせていただきました。いつも穏やかな口調で、患者の目線に立つて患者会活動の中心的な立場で活動に取り組まれていました。黎明期の透析治療を経験された大切な「語り部」の一人が亡くなられたことは、東腎協、全腎協にとつても残念なことです。

また、患者会活動以外にも旅行にご一緒させていただくなど、公私にわたり長年親しくさせていただきました。

近年は、長期透析による合併症でご苦労されながら療養生活を送られていました。患者会の常とは言いながらも、長く一緒に活動をされた先輩が亡くなられることは大変辛いことです。一ノ清さんのご遺志を引き継ぎ、患者会活動に取り組んでまいります。本当に長きにわたりご指導いただき有難うございました。

一ノ清明(いちのせ・あきら)平成25年12月24日逝去。享年76歳。透析歴44年。虎の門・高津会、元東腎協副会長、元全腎協関東ブロック長。1974年から2000年まで全腎協幹事、会計監査、運営委員を歴任。東腎協相談役。

# 診療報酬の改定について

2014年度（平成26年）4月から施行される診療報酬について、次のように改定されましたのでお知らせします。

人工腎臓等の適正な評価については次の通りです。

## 慢性維持透析患者外来医学管理料

○現行

【慢性維持透析患者外来医学管理料】2,305点



○改定

【慢性維持透析患者外来医学管理料】2,250点(改)

※▲55点

※慢性維持透析患者外来医学管理料には所定の検査に対する評価が包括されていることから、実勢価格を踏まえた各々の検査に対する診療報酬上の評価の変化を、当該管理料の評価に反映する。

## 人工腎臓（1日につき）

○現行

- 慢性維持透析を行った場合  
イ 4時間未満の場合 2,040点  
ロ 4時間以上5時間未満の場合 2,205点  
ハ 5時間以上の場合 2,340点
- 慢性維持透析濾過（複雑なものを行った場合） 2,255点



○改定

- 慢性維持透析を行った場合  
イ 4時間未満の場合 2,030点(改)  
ロ 4時間以上5時間未満の場合 2,195点(改)  
ハ 5時間以上の場合 2,330点(改)
- 慢性維持透析濾過（複雑なもの）を行った場合 2,245点(改)

※いずれも▲10点

※人工腎臓については、診療報酬が引き下げられました。

時間区分などについて変更はありません。全腎協が要望してきた「オンラインHDFの透析治療において、治療に必要な時間が十分確保できるよう診療報酬の技術料でオンラインHDFの時間区分について新規設定して下さい。」「長時間透析及び深夜透析（オーバーナイト）を希望する患者が治療を受けられるよう、診療報酬の技術料にある時間区分において、6時間以上の透析時間区分点数を新規設定して下さい。」については、実現できませんでした。

○その他手術等

- ①内シャント又は内シャント設置術 18,080点から18,080点
  - ②経皮的シャント拡張術、血栓除去術 18,080点から18,080点
  - ③関節鏡下手根管解放手術 12,000点から10,400点
- ※▲1,600点

今回改定で新たに糖尿病透析予防指導管理料（特定地域）が新設されました。

## （新）糖尿病透析予防指導管理料（特定地域）175点

※特定地域とは医療資源の少ない特定地域で二次医療圏のことを指します。

〔東京・二次医療圏〕

大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

以上の事から人工腎臓（1日につき）4時間以上5時間未満の場合を見ますと、現行2,205点から2,195点に改定され10点（100円）下がりました。また、慢性維持透析患者外来医学管理料55点（550円）と大幅に下がっていることを考えると、検査の頻度や包括されることによりいち早く血液検査や画像診断等で知りえる症状も検査の包括で悪化してからの処置になる可能性も考えられるので非常に危惧するところではあります。また、ダイヤライザー・材料価格等は今後の情報となります。

引き続き透析の診療報酬については厳しい条件にあることは変わりなく、今後も動向を見守っていく必要があります。

（事務局長・岸里）



協力 渡辺好徳・渡辺典史







## 「ご寄付お礼」

扶桑薬品工業（株）

○東京第一支店様（2月～3月）  
ご寄付ありがとうございます。

## 「青い鳥葉書（切手） ご寄付一覧」

### 【患者会】

- ・柳原健腎会
- ・いちよう会
- ・東葛クリニック小岩

（3月31日現在まで分、敬称略・順不同）

葉書・切手等は沢山使用しますのでいつでもご寄付受け付けておりますので、今後共よろしくお願ひします。

～ありがとうございました～

## 東京都腎臓移植組織適合性検査費（HLA検査費） 助成事業のご案内

### 1. 対象者

都内に住所を有し、人工透析を受けている慢性腎不全の方で、献腎

移植を希望するため、社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録をする方（社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成されます）。

### 2. 助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部（平成26年度については10,000円とします）。

### 3. 書類提出及び問い合わせ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策係

所在地 〒163-0008 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5320-4506  
FAX 03-5388-1473

### 東京都と協定を締結しているHLA検査センター

検査センター名	所在地	電話番号
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	東京都港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111
東京医科大学 八王子医療センター	東京都八王子市館町1163	042-665-5611
東京女子医科大学病院	東京都新宿区河田町8-1	03-3353-8111
東邦大学医療センター 大森病院	東京都大田区大森西6-11-1	03-3762-4151

### その他のHLA検査センター（都内及び近隣3県）

検査センター名	所在地	電話番号
昭和大学病院	東京都品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000
埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県日高市山根1397-1	042-984-4111
埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県川越市鴨田辻道町1981	049-228-3400
独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	千葉県千葉市中央区仁戸名町673	043-261-5171
東海大学医学部付属病院	神奈川県伊勢原市下糟屋143	0463-93-1121
北里大学病院	神奈川県相模原市南区北里1-15-1	042-778-8111
公立大学法人横浜市立大学附属病院	神奈川県横浜市金沢区福浦3-9	045-787-2800

## 編集後記

○第9回総会及び第4回大会に向けて準備を鋭意進めているところです。最近を振り返ると40年以上の長期透析患者が全国的に見ても亡くなってきていること。大変だった時代の最後の生き証人として困難な時代のお話を長期透析患者の方から聞いてきましたが、患者会活動が衰退しないよう、これからも東腎協の歴史を伝えるべき広報をしなければいけないと、再認識しているところです。

（岸里）

○今月は、「世界腎臓デー」「都民のつどい」「国会請願」と恒例の行事が盛りだくさん…。いまや国民病ともいわれるCKD、透析患者が年々増加していることをヒシヒシと感じる。われわれの活動の一つである、こうした患者を少なくする、悲しい辛い思いを一人でも減らしていくことこの意義がますます重要になってきている。新年度から「編集委員会」がHP委員会と合併し「広報委員会」となります。機関誌「とうじんきょう」と「HP」を効率的に融合

# 今後の活動予定

- |              |                                  |   |
|--------------|----------------------------------|---|
| 4月26～27(土・日) | 全腎協第110回理事会(東京)                  | 全腎協・関東ブロック青年交流会<br>inとちぎ(栃木県・大江戸温泉物<br>語日光霧降栃木) |
| 4月27日(日)     | 第97回理事会(C3)                      | 7月27日(日)  |
| 5月17日(土)     | 全腎協第54回総会                        | 第100回理事会(C3)                                    |
| 5月18日(日)     | 2014年度全腎協全国大会inた<br>ぬき(香川県)      | 8月12～15(火～金)<br>事務局夏季休業                         |
| 5月25日(日)     | 第98回理事会(C3)                      | 8月24日(日)  |
| 6月12～15(木～日) | 第59回日本透析医学会学術集会・<br>総会(神戸国際会議場)  | 第101回理事会(C2)                                    |
| 6月21～22(土・日) | 全腎協臨時理事会(東京)                     | 8月30～31(土・日)                                    |
| 6月22日(日)     | 第99回理事会(C3)                      | 全腎協・青年研修会(東京)                                   |
| 6月29日(日)     | NPO東腎協第9回総会(障害者<br>福祉会館・A1～3)    | 9月27～28(土・日)                                    |
| 7月6日(日)      | NPO東腎協第4回大会(大森東<br>急イン・フォレストルーム) | 9月28日(日)  |
| 7月12～13(土・日) | 全腎協・事務局長会議                       | 第102回理事会(C3)                                    |
| 7月19～20(土・日) | 全腎協・関東ブロック会議(山梨<br>県)            | 10月5日(日)  |
| 7月26～27(土・日) |                                  | 第34回臓器移植普及推進キャン<br>ペーン                          |
|              |                                  | 10月26日(日)                                       |
|              |                                  | 第103回理事会(未定)                                    |
|              |                                  | 11月8～9(土・日)                                     |
|              |                                  | 全腎協・相談員研修会(東京)                                  |
|              |                                  | 11月22～23(土・日)                                   |
|              |                                  | 全腎協第55回総会(東京)                                   |
|              |                                  | 11月23日(日)                                       |
|              |                                  | 第104回理事会(未定)                                    |
|              |                                  | 12月21日(日)                                       |
|              |                                  | 第105回理事会(未定)                                    |
|              |                                  | 12月26日(金)                                       |
|              |                                  | 事務局仕事納め   |

して、新たな広報活動を目指して  
いきたいと思えます。「HP」では、  
携帯端末からもアクセスできるよ  
うにしたいと思っています。

会員の皆様もご要望、ご意見な  
どお寄せ下さい。

(板橋)

## 表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表  
紙に、会員の皆さんの作品を掲載

特定非営利活動法人  
東京腎臓病協議会賛助会員  
入会のお願ひ

1972年(昭和47年)11月19  
日、東京都腎臓病協議会(現、特  
定非営利活動法人東京腎臓病協議  
会)を結成しました。結成から41  
年を経過し、透析医療も格段に進  
歩し、40年を迎えている透析患者  
さんもいらつしやいます。

その一方で社会保障制度、医療  
費制度の削減が社会問題となつて  
おり、莫大な費用を要する透析医  
療も安心してはられない状況で  
す。これからも医療機関、各企業、

いたします。絵画、陶芸、手芸、  
料理、…何でも構いません。

**募集時期** 随時募集

**応募方法**

出来るだけ作品を写真  
撮影して、プリントと作品コメン  
ト(400字以内)を添えて、封  
書で東腎協事務局(東京都豊島区  
南大塚2-40-11富士大塚ビル2  
F)へ郵送してください。

**謝礼** 採用の際には薄謝(図書券)  
を進呈いたします。

患者団体と結束して活動すること  
が大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る  
活動に賛同いただければ是非、賛  
助会員として団体の活動を支えて  
いただきたく心よりお願い致しま  
す。

記

賛助会員会費・個人年額5、0  
00円、団体年額 1口10、0  
00円/1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「東  
腎協」に掲載させていただきます  
(但し、継続でも初年度1回のみ  
とさせていただきます)。

選ばれているのには理由があります。  
頼れるコエンザイムQ10・  
L-カルニチンサプリ...

**新**

# Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

**コエンザイム Q10** 60mg\*

**L-カルニチン** 120mg\*

**ビタミンE** 15mg\*

カラダに♡  
とって大切です。

でも、加齢とともに不足します。

\*配合栄養成分 (2粒当り)

「透析/パンザイ」であなじみの  
山猫先生も  
毎日飲んでます!

こんなことで  
お困りでは  
ありませんか?



倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

**イーホープペプセル**がお届けする

基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の  
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し  
販売価格 **2,800**円

60粒入り1箱当り

★一家族  
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

★ペプセルシリーズは定価の5%引きで  
毎月発送致します。

★全て税、送料込み(離島を除きます)

商品の  
お求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00  
フリーダイヤル **0120-266-910**

不老(フロー) Q10(キューテン) FAXで **078-231-0330**  
ネットで <http://www.clubshop.jp/>

**イーホープペプセル** 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803 平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。

## 腎臓病患者の ための 全腎協でん の相談の ご案内

無料 0120-088-393  
または 03-5395-2631

◎事前に電話で下記日時をご予約下さい。(予約制)

◎予約受付時間:月~金(土日休日)  
午前10時~午後6時

療養生活の不安や疑問、体調がすぐれない、腎臓病の悩みやご家族の方々の話を各分野の専門家が対応します。お気軽にお電話ください。

**生活・福祉** 午後3時~7時  
担当:医療ソーシャルワーカー  
(一回30分)

5月9日(金)・29日(木)  
6月13日(金)・26日(木)

**栄養・食事** 午後2時~4時15分  
担当:栄養管理士(一回20分)

5月1日(木)・16日(金)  
6月5日(木)・20日(金)

**こころの相談** 午後3時~7時  
担当:認定心理士(1回30分)  
5月22日(木)・6月19日(木)  
(社)全国腎臓病協議会

\*当会では個人情報保護法に準拠し相談業務を行っています。

今回の絵柄を描くの  
に際し、山に入り竹を  
選ぶことから始まります。  
この竹を選ぶ時から、  
頭の中の創作が始まり  
ます。

竹には木の持つている  
年輪というものがなく、  
竹の一本一本がすべて違  
った顔をして想像を掻き  
立てます。5年以上の竹  
で、長さは15m、重さは  
300kgでも下から4m  
くらいしか使えません。

### 表紙のことは

吉澤 正雄さん  
(透析歴10年・62歳)

新小岩クリニック友の会  
(船堀)



その竹に特殊な加工を  
施し、約半年間寝かし  
ます。

いよいよ絵を掘る訳  
ですが、今回のような  
絵柄を掘る竹を選ぶのが  
大変でした。百人一首を  
見ながら絵を描くので  
が、字を書くのは4通り  
の掘り方があり、筆文字  
なのでさらに難しくなり  
ます。自己満足ですがう  
まくかけたと思います。



## 透析患者の現状

透析者28名中27名は大島腎友会所属。19、20、21日の3日間で全員本土移動させることになっている。その中には車イスの方が4、5名いる。

移動先で一番多いのは東京都保健医療公社大久保病院（元都立大久保病院）、他都立広尾病院、日本赤十字社医療センター、一部親戚の方の近くのクリニック。

### ※大島医療センター

平成16年4月より医療法人社団 藤井医院は医療法人社団 藤清会となり、公設民営型医療機関である大島医療センター（島で唯一の有床診療所）の管理・運営を行っている。

## 現地視察の詳細

日時…2014年2月22日（土） 10:15～15:00（竹芝桟橋より東海汽船ジェット船で片道2時間）

### 面談者

大島腎友会…中嶋相談役（前会長）

山口新会長（本年2月交代した）  
東腎協… 戸倉副会長（災害対策委員長）

岸里事務局長

全腎協… 小野副会長

主な行動…大島医療センター視察懇談・献花（故那智夫妻・大島町献花台）・被災地視察



東京都大島町では台風第26号の豪雨に伴い、火山地域で発生した（流木を伴う）大規模な泥流により甚大な被害が発生した。（内閣府）



○中島氏宅にて懇談・都営「つばき公園」視察

## 大島医療センター訪問

○川島主任（事務長不在のため主任看護師）と懇談。

○施設規模・10床。看護師4名・技師1名・准看護師1名。腎内専門医は月に一度来院し検査データチェックと問診を行う。施設は始

業8時～17時に終了。日曜定休。検査は月一度。患者もその実態を容認。

○患者数・会員数：患者29名、会員数26名（2名は今後入会予定）。

○被災時の状況：台風26号時病院のすぐ側まで土石流が迫り、停電・断水の恐れと台風27号接近により医療センターの医師の判断で都の透析施設で透析すべきとして、大久保・広尾病院など5病院の受け入れを手配した（ネ



(上) 故那知ご夫妻の自宅跡にて献花黙祷  
(下) 大島町の献花台にて献花黙祷



ットワークを使用せず）。臨時宿泊手配は行政に協力を得た（安定してからは、入院・親族に頼るなどまちなち）。この手配はスムーズに運ばれたが、患者の中では移動を好まない者もあらわれて説得した。

## 献花黙祷（写真参照）

○故那知ご夫妻（ご主人が患者会会員。土石流に襲われ夫妻が被災し逝去。家屋も破壊され現在は家屋の跡形もない状況）の自宅跡にて献花黙祷。

○大島町の献花台（医療センターすぐ脇）にて献花黙祷。

## 被災地視察（前写真参照）

○最大の被災地（すでにある程度の整備が進行中）と未着手の被災地を視察。最大の被災地・見渡す限り土石流跡。元の姿は林間に家屋があったが、更地状態と残る家屋が破壊され残る。重機が入り整備中。土地は火山灰のようなさらさらして、ちょっとした風にも土埃が舞い上がる荒涼とした状態であった。

○整備未着手の被災地・大木が根元から折れ・大きな岩石が流れ着いた状況。下流に損壊した家屋が残る状況。

○砂防ダム・被災地そばに砂防ダムがあるが土石流を飲み切れず、基本的に低いほうに流れた状況。



いまだ整備未着手の倒壊した家屋(左)  
最大の被災地  
見渡す限りの土石流跡(下)



## 中嶋氏宅で 昼食の接遇を受け懇談

(氏の畑で採れた産物中心) 大島の透析・患者会活動の歴史・望むこと等。

○大島における透析患者・町の人口約8,300人に対し29名(286名に1人)の透析患者は日本の平均を上回り多い。糖尿病患者からの透析は60〜70%と推測される。理由は「病院に行く習慣がない」「病院の状況(本格的には東京に行くしかない)」など。

○患者会活動の歴史・医療センターに透析施設の併設・専門医の来院など努力して実現した。患者会活動は根気よく・継続的に交渉すること、などの発言があった。

## 実情と望むこと

○シヨートステイ・場合によっては家族も介護できない状況もあり、患者を受け入れるシヨートステイを充実してほしい。大島では重度でない患者は面談後、軽症者は受け入れ可能となっている。

○老健建設・議員によっては理解があるが行き届かない。結果的に島民に負担が及ぶことを危ぶむ声もある。

○夜間透析・現在の透析医療の実施状況に患者が合わせている。現状では夜間透析は不可能と思う。当然就労にも影響がある。

○在宅透析…指導がない。腎内担当医師の常駐もない。

○問題点

○都と大島の間には区が存在すれば交渉も明確化できるが、都が相手ではどこと交渉すればとの感がある（大島の行政には身近なことは交渉できるが）。

○医師看護師の不足。

○大島の透析導入の多さに対する予防活動。

○透析患者への啓蒙（講師を派遣し講演会開催など）。

○東腎協との接点を増やしたい。

### 視察の感想

土石流の威力のすさまじさを改めて感じた。夜中停電中にこの土石流に襲われれば人間の力など抵抗は不可能である。大島におけるこの災害では透析患者1名・家族1名がお亡くなり、家屋も失う結果であったが、残る透析患者に関しては滞りなく手配できたことは不幸中の幸いであった。

懇談中に出た話だが、今後東京都で発生した場合、災害対策はどのように準備するか、については、「ほぼ困難ではないかと想像される」との発言が出ていた。都に在住する透析患者として記憶すべきことである。

報告者（小野、岸里）

○全腎協災害規定により見舞金を申請

○災害見舞金内訳（案）

死亡（本人）	100	000円
家屋全壊（建物の50%以上が損壊）	100	000円
家屋半壊（建物の20%以上50%未満が損壊）	50	000円
家屋一部損壊（建物の3%以上20%未満が損壊）	30	000円
床上浸水	30	000円
避難勧告（10日以上）	30	000円

以上、全腎協災害規定により死亡者1名、避難勧告（10日以上）22名を東腎協から申請し、大島腎友会会長より、各被災会員にお見舞金が配布された。

## 大島腎友会より御礼の手紙

先日は当腎友会会員への災害見舞金をありがとうございました。

おもいもかけない大きな災害に見舞われ、透析者全員が10日以上の大島外での避難生活を余儀なくされました。

精神的、肉体的負担はもとより、家族の付き添いを要した患者は、特に経済的負担も大きく、今回の見舞金は大変ありがたいもので、大きな励みになっております。

本当にありがとうございました。

東腎協、全腎協のかたがたのお骨折り、お心遣いに心から感謝申し上げます。

また、当会の中心メンバーであった、那智伴幸さんへの見舞金もご遺族のもとに渡し、大変感謝していらっしゃいました。ありがとうございました。

いまだ復興にはほど遠い大島ですが、なんとか島民力合わせてがんばっていきたく思います。

今後とも何かとお世話になることが多いとは思いますが、よろしく願いいたします。

2013年12月28日

大島腎友会前会長 中嶋 仁司



大島医療センターでの打ち合わせ

想像を超える災害に備えるために①

# 東日本大震災学術調査報告書

—災害時透析医療展開への提言—

東腎協  
災害対策委員長

戸倉振一



3・11東日本大震災から3年が経過したところですが、昨年12月、

災害時に透析医療を確保するため

に、東日本大震災から学んだこと

を、今後の透析医療に生かしてい

くことを目的とし、透析医学会が

中心となってまとめられた大変に

貴重な調査報告書「東日本大震災

学術調査報告書—災害時透析医療

展開への提言—」が発行されまし

た。そこで、この報告書から特に

透析患者として心得ておくべき内

容、また東腎協として取り組んで

いかなければならない内容に着目

し、どのような提言が行われている

のかまとめていきたいと思いま

す。

## 最も重要な基本的な視点

はじめに、透析施設の災害対策

についてです。宮城県の透析施設

では震度6・7を記録した透析施

設が多数出たにもかかわらず、透

析室内機械・設備の損傷による透

析不能は、ほぼ皆無でした。これ

は、これまで醸成されてきた透析

室内災害対策を宮城県の透析施設

全体で推進してきた結果によりま

す。このことから、将来の災害対

策への最も重要な基本的な視点は、

これまで醸成された災害対策をさ

らに徹底し、透析室の直接被害に

よる透析不能を回避することにあ

るとしています。

なお、緊急離脱については事態

の切迫度にもよるが、普段の診療

において慣れている方法が安全で

あり、通常返血を第一選択とする

が、火災やガス漏れ事故など事態

が非常に切迫している場合の備え

として、最近開発された逆流防止

弁付留置針や緊

急離脱用回路

アップ法などがあ

り、通常回収の

バックアップ手

段として推奨し

ています。

## 透析施設の自助の限界

東日本大震災における314の

透析不能施設に対する調査では、

透析施設の自助として整備した自

家発電機や貯水槽は、燃料や給水

などの補給という重大な場面で、

共助・公助の支援を受けなければ

成り立たないという、重大な要素

を持つていました。このことから、

当初の予想ほど役立つものとはな

りませんでした。一般透析施設が

これらの非常用設備を整備しても、

維持透析には不十分なレベルであ

ったり、震災による故障が思った

以上に多かつたり、専門のメンテ

ナンス要員がいな

かったことから、

結局透析ができな

かった場合が多く

ありました。また、

災害時に他の医療

機関や公共施設を

差し置いて優先的

に給水や燃料補給

を受けられなかったなど、一般透  
析施設が維持透析のための自助防  
災対策としてこれらを整備するこ  
との限界が露呈しました。

## 公共性を有する施設が活躍した

一方、宮城県の透析医療従事者

からの報告では、災害拠点病院な

いし、透析基幹病院の地域に唯一

の拠点施設の9施設は、停電と断

水に対する対応として、自家発電

機を稼働させ、県や市からの給水

車による給水サービスを優先的に

受け、透析不能施設の支援を行っ

ています。これらは、支援を優先

的に受けるに足る公共性を有する

施設であったことが共通していた。

なお、透析不能となった49施設は

停電・断水を克服できなかった一

般施設が多数でした。

## 透析医療を確保するための方策

ライフラインが途絶した場合、

全ての透析施設に自家発電機と貯

水槽を完備し、重油と数十トンの

水を常に備蓄しておくことはでき

ないため、行政を中心とした支援

体制が必要であるが、その対処の

方法には次の2つが考えられます。

①地域透析拠点病院方式

### これまで醸成されてきた透析室内災害対策

- ・ベッドサイドコンソールのキャスターフリー
- ・患者ベッドのキャスターロック
- ・透析供給装置とRO装置※の壁面へのアンカーボルト固定
- ・透析供給装置とRO装置の壁面との接続部のフレキシブルチューブ採用

※RO装置：水道水から透析用水を製造する「水処理装置」

ライフライン途絶期間だけ地域透析中核病院に、十分な量の自家発電機を設置し、医療資源と水資源を集中投入します。そして順次ライフラインが復旧し透析再開した施設間でも共助を続けながら透析医療の確保を行います。

②域外移送方式  
透析医療における共助体制が十分に整備できていない地域で、巨大災害が発生した場合は、ライフラインが稼働している被災地外へ透析患者の移送を中心とした対処を行うことです。

### 座減症候群（※1）への対応

地域透析拠点病院と災害拠点病院を分離することも必要と提言しています。東日本大震災は津波被害がその主因を占めたため、過去の地震災害に比較して挫減症候群による急性腎不全が極めて少ないなど、急性期医療の比率がこれまでの震災より低かったという特徴を有していました。しかし、今後予想される、首都直下型地震などの大規模地震において、災害拠点病院が救急医療を担いながら慢性透析の地域の中心施設として機能することは過酷を極めます。地域

の災害対策のネットワーク構築にあたっては、慢性透析の拠点病院と地域災害拠点病院を分離して整備することが望ましいと提言しています。

### 災害時の体調管理

①透析患者の場合には、遠隔地への単独避難、透析施設への通院、避難所での食事制限、透析者とは言い出しづらい環境、生活リズムの他者との違いなどさまざまなストレスが重なることが予想されるため、十分な睡眠、心身の安静を確保する。

②災害後にもたらされる血圧上昇は必ずしも体液量の増加に伴うものでなく、ストレスによる交感神経緊張状態が強く関与する。避難所では透析患者であることを明示し、血圧や脈拍測定之机を得られるようにし適切な降圧療法をしてもらえるようにしておく。  
③一般的に避難所などで配給される食物が減塩食であることは殆どなく、かなり塩分を含んでいるものが多い。そのため食塩摂取の過

剰によるうつ血性心不全を起こす。もう一つは、いつ透析を受けられるかどうかの心配、あるいは配給食が塩分過多のため食べるのを過度に制限してしまい脱水状態になるので、溢水・脱水に注意する。避難所などは透析患者であることとを明示し、体重測定之机を得られるようにしておく。

### 首都直下地震への対処

東京都には約400の透析施設が点在し、半数以上がビル診療（54・7%）であり、約6割の施設では自家発電機を有していないという特徴を持っている。また、電気、水道といったライフラインは、首都直下地震では広域で破綻する可能性が少なくない。現在、東京都で約3万人、南関東4都県で約8万人の透析患者がおり、耐

震機能に優れ被災を免れた一部施設だけで、震災直後の透析を維持することは困難である、という事実を透析関係者、透析患者、自治体政府が共通に認識として持つ必要がある。

なお、首都直下地震

が発生した場合、数百人から最大数万人の透析患者の移送と支援透析が必要になってくる可能性がある、東日本大震災においては、数百人程度の移送は行政を介さずに移送した実績があるが、それ以上の人数の移動について行政の関与は不可欠である。また、移送した場合の患者の避難場所、避難時の生活のサポートなど行政のサポートの必要性は高い。小規模な移送でも緊急車両の取り扱いをしてもらわなければ移送に支障を来す場合もある。また、被災地で透析を続行する場合も、施設への給電、給水に対する配慮が必要になる。このようなさまざまな事態に備えるべく、上記の地域組織と平時の行政と自治体の協議が必要である。災害時には何がなんでも自身が通う透析施設と連絡をとり、指示を受けることが大原則ですが、以上の提言にあるように、想像を超える災害に備えるためには、東京都への要請のほかに最も身近な市区町村へも、普段からの働きかけが重要になります。次号では、各地域腎友会の取り組みを紹介したいとおもいます。

### ※1 挫減症候群

#### 【ざめつしょうこうぐん】

クラッシュ-シンドロームとも言う。広範囲にわたる筋組織の損傷により引き起こされる症候群。初期にはショック症状があり、急速に腎機能が悪化するため、透析が必要になる。

# リレー エッセイ

## 透析は僕たちにとって なくてはならないもの

僕は現在27歳ですが、最初に腎臓がおかしいのではないかと発覚したのは13歳ころ受けた尿検査でした。それまでは、小学校の尿検査で、引っかけられても検査結果は「問題なし」と言われてきました。なので、今回も「よくひっかかるなあ」程度にしか思っていました。ところが、検査結果は「問題あり」でした。そこで、紹介された病院へ行ったところ、

「うちより小児専門の腎臓内科があるから、そちらへ行つたほうがいい」と言われ、また紹介状をもらい、次は清瀬の小児病院へ行くことになりました。

僕は東京生まれと言っても、立川なので、立川から清瀬病院まで乗り換え、乗り換えて、二時間かかります。そこは、小児専門というだけあって、全国各地から患者

が来るそうで、北海道から来ている患者もいました。「うちはまだ近いほうだったのか」と驚いた記憶があります。月に一度の診察で、二年ほど通った14歳ころ清瀬病院が合併することになり、また違う病院を紹介されました。

次の病院は近場を希望したら、立川にある「共済病院」を紹介してもらい劇的に近くなりました。「初めからここで良かったのでは」と清瀬を紹介した人に言いたかったけど、近場になれたので我慢です。

共済病院へ通い10年近く経った

ころ、クレアチニンが徐々に高くなり、「数値が5を超えたら透析しましょう」と言われました。言われてから一年経たないうちに数値が5を超えてしまい、本格的に透析準備になりました。それまでに、透析がどういふものか説明されていたので、すんなり受け入れることができました。

まずは、シャントを作るために福生病院を紹介してもらい、生まれて初めて電気メスを体験しました。メスを入れるたびに機械が「ピー、ピー」と音がして意外に怖かったです。シャント作成後は透析

を受ける施設に一先ず、西国分寺にある「多摩総合医療センター」を紹介してもらい、初の透析を受けました。透析準備のときから「透析はスゴイ痛いよ」と脅かされていたので、ビクビクものでしたが、いざやってみると脅かされたのが良かったのか大して痛くもなくホッとしました。それよりも当時新米だったのか穿刺した女医さんのほうが僕より緊張していて、逆に「先生リラックス」と技師さんたちと笑ったことが良かったのかもしれません。

多摩総合医療センターで透析を受けている間、地元立川で受けられる透析を探したところ、今お世話になっている「すながわ相互診療所」を見つけました。車で送迎ありだったので即決しましたが、スタッフの皆さんも良くしてくるので、本当にこちらで透析を受けられることに感謝しています。

透析は辛いという方もいますが、僕たちにとって透析はなくてはならないものなので、透析医療を開発、発展した方々に感謝し、ここまでのネットワークを築いてきた全腎協および、東腎協の皆様にも感謝いたします。

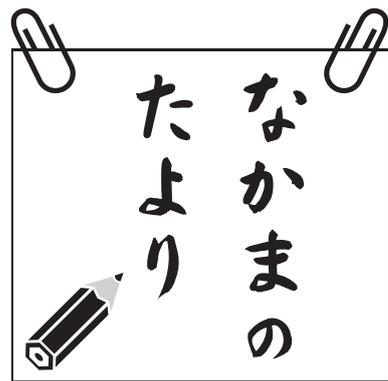
## 清水 陽介さん



透析3年 (27歳)

NPO 東腎協理事会 オブザーバー

すながわ相互診療所



## 「小池会」忘年会

藤田吉彦  
(小池内科小池会)

昨年の年の瀬も押し詰まった12月21日18時より、小池会の忘年会が飯田橋のセントラルプラザビル20Fの「北海道」において開かれました。

小池会は会員数28名で施設は飯田橋駅近くにあり、朝7時から可能なフレックスタイムの透析と、親身なスタッフで評判のクリニックですが、例年12月には院長先生透析スタッフ、患者とで楽しい忘年会を欠かさず行っております。

当日は小池院長、スタッフの小林さん、細川さんに加え、東腎協から岸里事務局長、板橋編集長のご参加も得て、蟹料理に舌鼓を打

ち、様々な話題で盛り上がりました。

また初めての試みのビンゴ大会に、一同童心に帰り和気あいあいと賑やかなひと時を過ごし、それぞれに賞品を抱えて帰宅の途につきました。

小池会は忘年会以外にも、年に1〜2回、院長先生ご本人他お知り合いの先生による勉強会を実施しており、大変好評を得ています。今後会員が増えていくよう一同願っております。



小池会忘年会

## 勉強会&新年会

坂本悦男  
(東海病院ひまわり会)

1月26日、東腎協理事会開催日と重なってしまったが、理事会より身近な仲間がいる「東海病院ひまわり会」のほうに当然優先事項と決めつけ、勉強会&新年会に専念した。

勉強会は午後1時から4時まで、新年会は5時からと時間を決め、場所は中村橋福祉ケアセンターを勉強会用に確保し、新年会は居酒屋「村さ来」を予約した。

勉強会は二部から構成し、第一部は介護施設のケアマネージャー、ヘルパーさんたちに案内を出して来ていただき「腎臓病患者の注意すべき生活とその理由」を中心にした腎臓病の基本の説明。第二部は患者同士の意見交換と生活リズム活性化の話し合い。と言う内容でありました。

我々も高齢化して、日常生活に介護する人々の手助けが必要となるケースが増えておりますが、腎臓病患者には日常生活の中で体重管理やらリン、カリウム等の摂取調整法など特に注意すべきことが



ひまわり会新年会

多々ありますが、介護の方々には他の障害の方々と同様の注意で良いと理解される方が居ないとも限りません。そこで我々も今一度生活の中で注意すべきことを思い返す意味を含め、病院側をお願いして基礎、腎臓病患者の注意すべき日常生活と介護して下さる方々の病气認識の深化を勉強した次第でした。

当初25名の部屋を確保したのですが、途中から手狭である程の盛況さが分かり、さらに隣接の部屋もあわてて確保し、何とか乗り切ることが出来ました。勉強会参加者総勢34名でした。第一部の基礎的な勉強を1時間ほど行った後、

第二部に入り各自の体験や自己紹介を話し合い、これがまた大いに盛り上がり、残余の時間があつという間に過ぎ、次の新年会へと流れて行ったのであります。

新年会につきましても、例年になく参加して下さり、会費三千元、飲み放題(これでいいの?)に28名が出席。ひまわり会の3分の1以上の人が出席したこととなります。もちろん病院側からも江本院長先生を始め栗山先生、中西師長も出て下さり、飲みすぎにチエックしていただくつもりでしたが、先生方がよく飲んでまして、今後の反省材料となりました。患者同士また病院側とのコミュニケーションが良くなり、日々の生活にも張りが出たものと感じております。

### 第九回川柳コンテスト

川柳係 井上 武  
(優人クリニック患者会)

練馬区の優人クリニックで患者会による第九回目の川柳コンテストが開催されました。今回のテーマは「元氣」で六十八句も応募がありました。

審査員は患者会役員と前回コン

テストの成績優秀者で、投票の結果、優秀作品には次の句が選ばれました。川柳では一位から三位を天地人と呼び、五客と続きます。

天 元氣な日毎日続く

夢を追う

久保光子

地 永生きでお国に悪いが

俺元氣

寿老人

人 楽天が元氣をくれた日本一

山口君子

五客 菊の鉢隠せ元氣な

孫が来る

菊之丞

五客 うちの元氣だけだ

アルツなの

寿老人

五客 来てうれし帰ってうれし

孫元氣

金子博光

五客 おしゃべりと食欲だけは

衰えず

丸山みね子

五客 姿より元氣が取り柄

我が女房

清水猛

透析クリニックには患者会があるクリニックと無いクリニックがあります。私は患者会が無いクリニックで八年、患者会があるクリニックで九年間透析を受けておりますが、患者会があるクリニックのほうが患者同士の交流があるため断然雰囲気が良いです。

毎週三回、四時間の透析をする場所ですから雰囲気の良いところで過ごしたいものです。

当患者会では講師を招いて勉強会をしたり、院長や医療スタッフとともに親睦会をしたり、慰安旅行等を毎年開催しています。

ハンデイを背負った者同士で楽しい活動をして癒され、励まされ、透析も辛いことばかりではないのだと実感できます。川柳コンテストもそのような主旨で開催されています。

ご支援ありがとうございます

ございました

嵯峨ミサ子  
(大島腎友会)

この度、大島町での台風26号災害の折は、貴腎臓病協議会から、お見舞金をいただき、厚く御礼申し上げます。

お陰様で、島外避難した会員も今月中に全員帰島できるとの話を伺っております。

私も会員の一人として、お見舞い金をお宅へお届けしましたが、皆様、感激と感謝の気持ちで受け取ってくださいました。

本当に貴重なお見舞金をいただ

き、大島腎友会の皆様にかわりまして、心からお礼を申し上げます。また、明日から病氣と上手に付き合いつながり、大島に住んでいて良かったと思える生活を頑張ります。

今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。

平成25年12月28日

敬具

### 投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、内容は問いませんので、何でもお寄せください。

また会員さん訪問で出てみたい方、自薦他薦は問いませんので東腎協事務局までご連絡ください。併せてわたしたちの患者会も募集しています。



# 私と東腎協 ③



## 三河勝実さん(71)

高中腎友会 (透析12年6か月)

### ◆ 透析導入は

平成12年、仕事である旅行の添乗員として、ブラジル・サンパウロに同行した時、下半身がむくみ体調が不良となりました。その時は長時間飛行機に乗り、足の運動不足による血流不足のエコノミー症候群にかかったのだろうという認識で、別段の危機意識も持っていませんでした。

ところが平成13年7月、突然おう吐し、歩くこともままならなくなりました。体調自体は、体が重く仕事の疲れが蓄積し、日常生活も何とはなしにだるいという感じはしていたのですが、決して重い病気であるという気はしていませんでした。

とにかく病院に行ってみようと、近くの高島平中央総合病院に駆け込み、当時院長であ

りました麦倉先生に診療して頂きました。

ところが症状があまりにひどく、早速透析を開始。シャントを作成する時間もなく、首のところを切開し管を入れての透析でした。来院が一週間も遅れていれば、命はなくなっていただろうと言う状態だったようです。一つしかない命、本当にこの駆け込み透析により守られ現在に至っています。透析に勝るものはないと心から感謝しております。

### ◆ 人生いつも旅人か？

私は「あまちゃん」のロケ地となった、岩手県久慈市に生まれ育ちました。昭和37年19歳で「あー、上野駅」に降り立ち（井沢八郎の歌より2年早かったが）、以来52年間東京に居を構え、添乗員の仕事をしながら故郷をしのび、心はいつも北国へ。若き頃より現在

に至るまで「ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみの中にそれを聴きにゆく」と言う啄木の歌に涙を流し、「帰りたいけど帰れない」と口ずさみながら北を望む。

4時間を超える透析の間、過ぎし時間を追憶し、心の中は故郷そして旅して巡った世界の各地を夢見る。透析が終わり、現実に戻ると血圧が下がり、また生きていることを実感。都会の便利で安心できる医療を享受しながら夢はあちこち。私は人生を旅する中途半端な透析宇宙人か!?

### ◆ 諸先輩の努力による、今の透析環境に感謝しよう

現在、都営三田線西台駅より1分の「西台ロイヤル診療所」で透析を受けております。ここは、高島平中央総合病院附属ですので、体調が悪い時はすぐに対応してもらえます。私は昨年10月に妻を亡くし、独り身の寂しさを親切的な看護師さんや技師さんたちの、温かい雰囲気な慰められまた力づけられ感謝しております。そして、金銭の負担なく週3回の透析が出来ることには、本当に先輩諸兄等の努力の結果と深く謝意をする次第です。

現在の透析環境が当たり前と思っている患者の方々がたくさんいます。そのような患者さんたちに、一緒に働きかけて一人でも多くの人が今の状況を維持、継続できる運動に加われるようにしようじゃありませんか。安心な透析のために。

# 私と東腎協 ④



山崎 弘さん (71)

東海病院ひまわり会 (透析22年)

## ◆ 職場の検診で…

昭和40年、当時勤めていた職場（不二家）の検診で、「尿に蛋白が出ている」と言われました。当時まだ22歳でした。その後、毎年の検診の都度、血圧が高いと指摘を受けていましたが、酒は飲むし普通の生活をし、組合の活動にも真面目に取り組んでいました。当然腎臓病の自覚症状などありませんでした。平成4年、さすがに体の状態が悪くなり透析に入りました。49歳の時です。子供たちは20歳、18歳、10歳という年齢でした。経済的なことはどうすれば良いのだろうか？と考えると、お先真っ暗という気持ちでした。

透析を始めてすぐに病院から説明を受け、腎臓病の治療に関しての手続きや制度を聞き安心したのです。

## ◆ 透析医療諸制度に感謝！

それは、透析医療の国の負担による無料化に近いものと、障害者年金支給等でした。これら制度の存在があり、日本に生まれて良かったと今でも思っています。

私は企業で働いていた時に組合活動にも関心があり、自分たちの要求を、相手である会社側に理解させて実施させるには、多大な努力が必要だということを知っていましたので、患者の立場に立った透析患者のこの制度を作り上げるには、本当に大変な苦勞を先人の方々がしたのだろうと思っています。

## ◆ 患者会の会長をしています。

現在、私は練馬区の東海病院で透析をして

おり、患者会は「ひまわり会」といいます。東腎協の正会員であり、「ひまわり会」の会長も務めさせてもらっています。自分の透析に至った経緯、その時の心配事、そして現在に至るまでの間、何と言っても腎臓病という不治の病気にもかかわらず、生き続けて来れたのは、患者同士が力を合わせて、自分たちの生きる権利を行政に働きかけてきたことの結果だと思っています。それだけに今、新規に透析を開始した方が東海病院に来られると「ひまわり会」に入会して、会費を納めて下さるようお願いしております。

## ◆ 練馬地域腎友会の結成をめぐります

腎臓病患者の連携はまだ弱いと思っています。そこで、今年の4月に開く「ひまわり会」の役員会の中で、練馬区内に腎友会の設立構想を提案する予定です。私どもの東海病院だけでなく、桜台クリニック、土支田クリニック、高松病院、大泉優人クリニック等の施設の患者会を中心に、他の施設にも声をかけていこうと考えています。

私どもは、自分たちの透析環境の一層の向上のために、自分たちのできることを着実にやっていきます。まずは「ひまわり会」の楽しい運営、患者同士のコミュニケーション、病院との意思疎通、そして地域の患者会との交流をめざしてこれからも頑張っていきます。

# とうじんきょう 活動の まど

## 腎内科クリニック世田谷 患者会講演会を開催

3月16日(日) 世田谷区烏山区民センター

当日は晴天にも恵まれ他院の患者さんも含めて65名を越える多くの方にご参加いただきました。  
講演会では技士長のご講演と兵庫の「坂井瑠実クリニック」坂井瑠実理事長をお招きし、ご講演をいただきました。

坂井先生には「透析医療40年を経ている見えてきたもの」、「長時間透析は有用か？」をテーマにお話を



いただきました。

透析療法の歴史を辿りながら現在の透析療法に至るまでの道のり、そして阪神淡路大震災でのご経験を写真を交えながら分かりやすくお話をいただきました。

終了後の質疑応答では、参加者の方からあった多くの具体的な質問に丁寧にご回答をいただきました。長きに渡り透析医療に携わっていらっしゃる坂井瑠実先生のお話は、内容はもちろんのことその一言一言にとっても重みがあり、大変貴重な勉強をさせていただいた講演会でした。

## 第43次国会請願に 全国から214名が集結

第43次国会請願は、3月20日衆議院第一議員会館に全国の県の代表が集結して開催されました。紹介議員290名、来場議員30名、秘書60名、会員参加数214名(東京7名)でした。



集会に来場された議員の方々

### 国会請願紹介議員

会派	氏名	衆参
自民党	秋元 司	衆議院議員
自民党	平沢勝栄	衆議院議員
自民党	石田昌宏	参議院議員
民主党	長島昭久	衆議院議員
公明党	高木美智代	衆議院議員
公明党	石田祝稔	衆議院議員
公明党	竹谷としこ	参議院議員
公明党	山口那津男	参議院議員
共産党	笠井 亮	衆議院議員
共産党	田村智子	参議院議員
共産党	小池 晃	参議院議員

署名数は東京16,972筆(全腎協736,282筆)、JPA東京14,703筆でした。募金は東京1,452,750円(全国2,282,314円/3月20日現在)でした。



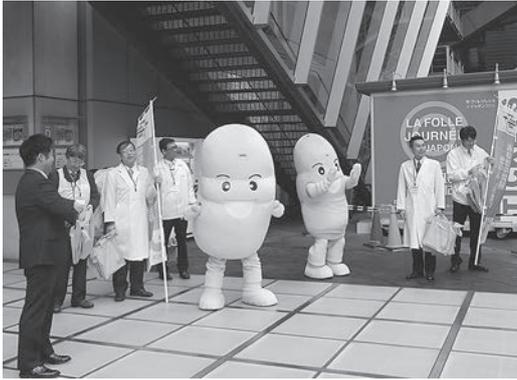
小池晃参議院議員

## 世界腎臓デー・シンポジウム

日時…3月13日(木)  
場所…東京国際フォーラム  
主催…厚生労働省

世界腎臓デーに合わせて、CKD（慢性腎臓病）に関する正しい知識及び腎臓病研究の最前線多くの国民に広く情報提供することを目的として、シンポジウムが開催されました。

シンポジウムに先立ち、東京国際フォーラム1Fでキャンペーン



世界腎臓デーキャンペーン

が行われ東腎協からも3名参加しました。

日本慢性腎臓病対策協議会  
<http://j-ckdi.jp/jckdi/>

## 全腎協・一般社団法人への移行について

社団法人 全国腎臓病協議会  
会長 今井 政敏

拝啓 日頃より会活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、1月17日(金)に内閣府公益認定等委員会へ諮問された当会からの移行認可申請について、1月24日(金)の同委員会において、認可の基準に適合すると認められるのが相当と答申されたことについて、内閣府公益認定等委員会事務局より連絡をいただきましたのでご報告申し上げます。

今後は、4月1日の一般社団法人への移行に向け準備を進めてまいります。

法人移行作業が遅れご心配をおかけしましたことについて心から

お詫び申し上げます。

全腎協は今後、一般社団法人として、コンプライアンスを順守し、様々な課題に会員の目線で取り組んでいきますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

## 第25回腎臓病を考える都民の集い

日時：3月16日(日)  
午後2時～4時  
場所：都民ホール(都庁議会棟1F)  
参加者：195名(男性81名、女性85名、他29名)  
主催：NPO東京腎臓病協議会  
共催：東京都

主催者を代表して、NPO法人東腎協藤田吉彦会長が挨拶し、共催者として、東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課阿部敦子課長が挨拶しました。

第一部では、「CKD(慢性腎臓病)について詳しくなろう」腎臓をまもるために」を東京医科大学病院腎臓内科主任教授菅野義彦先生より、「CKD(慢性腎臓病)の食事療法」腎臓をまもるために今すぐできる食事の工夫」を女子栄養大学管理栄養士坂本香織先生よりご講演いただきました。

第二部では、山下吏良さん(元NHKアナウンサー)の司会・進行で、講師の菅野義彦先生、坂本香織先生への質疑応答していただきました。



菅野先生(右)坂本先生(左)



都民のつどい

## 一ノ清 明さんを偲んで

まさに「巨星墜つ」

元東腎協会長 糸賀 久夫

一ノ清明さんの突然の訃報に接し本当に残念でなりません。

告別式のメッセージ披露の中に「巨星墜つ」との表現がありました。まさにそのとおりの人だったと思います。透析歴44年目を迎え、享年76歳は、高齢の透析患者の中では最長記録ではないでしょうか。

東腎協結成から現在の相談役まで役員を続けてこられた人は、一ノ清さんが最後になつてしまい、結成当時の経験をもつ人はいなくなりました。一ノ清さんは、温和で誠実な人でした。いつも謙虚で献身的な姿勢は、多くの役員、会員に慕われていました。

東腎協が活動しはじめた頃の一時期、事務所がありませんでしたので一ノ清さんの自宅を事務局に提供して頂いた時ありました。一ノ清さんのこれまでの役職としては、東腎協では当初から常任幹事、そして副会長、相談役と長く歴任され副会長の時には、東腎協を代表して全腎協の幹事、運営委員、理事の重責を果たしてこられました。そのなかでも全腎協・関東ブロックのブロック長として長い間活躍され、各県の状況がそれぞれ違っていて難しいところを抜群の調整能力でリードして頂きました。

近年の一ノ清さんは、長期透析によるアミ

ロイドの合併症との戦いでした。苦しいときでも愚痴をこぼすことなく笑顔を絶やさない人と奥様からお聞きしております。透析導入当初の厳しい食事制限を乗り越え、44年もの長い間透析人生を共に歩んでこられたのも深い絆で結ばれた夫婦愛があつたからだと思っています。

一ノ清さんの先駆者としてのご指導は、今



日の東腎協、全腎協の歴史に残る礎となつております。長い透析人生本当にお疲れ様でした。

これまでのご恩に心から感謝申し上げます。どうぞ安らかに眠りください。

## 黎明期の透析治療の「語り部」

全腎協常務理事 金子 智

一ノ清明さんがご逝去されましたことに心

からご冥福をお祈り申し上げます。

一ノ清さんには、私が東腎協常任幹事をしていた時に初めてお会いし、患者会活動について一から教えていただき育てていただきました。当時は、常任幹事会が終わると必ず近くの喫茶店に立ち寄り、色々な話を聞かせていただきました。特に昭和40年代の透析環境の劣悪さの話はとても想像のつかない厳しいものでした。後に全腎協の役員に就任され長く一緒に活動をさせていただきました。いつも穏やかな口調で、患者の目線に立つて患者会活動の中心的な立場で活動に取り組まれていました。黎明期の透析治療を経験された大切な「語り部」の一人が亡くなられたことは、東腎協、全腎協にとつても残念なことです。

また、患者会活動以外にも旅行にご一緒させていただくなど、公私にわたり長年親しくさせていただきました。

近年は、長期透析による合併症でご苦労されながら療養生活を送られていました。患者会の常とは言いながらも、長く一緒に活動をされた先輩が亡くなられることは大変辛いことです。一ノ清さんのご遺志を引き継ぎ、患者会活動に取り組んでまいります。本当に長きにわたりご指導いただき有難うございました。

一ノ清明(いちのせ・あきら)平成25年12月24日逝去。享年76歳。透析歴44年。虎の門・高津会、元東腎協副会長、元全腎協関東ブロック長。1974年から2000年まで全腎協幹事、会計監査、運営委員を歴任。東腎協相談役。

# 診療報酬の改定について

2014年度（平成26年）4月から施行される診療報酬について、次のように改定されましたのでお知らせします。

人工腎臓等の適正な評価については次の通りです。

## 慢性維持透析患者外来医学管理料

○現行

【慢性維持透析患者外来医学管理料】2,305点



○改定

【慢性維持透析患者外来医学管理料】2,250点(改)

※▲55点

※慢性維持透析患者外来医学管理料には所定の検査に対する評価が包括されていることから、実勢価格を踏まえた各々の検査に対する診療報酬上の評価の変化を、当該管理料の評価に反映する。

## 人工腎臓（1日につき）

○現行

- 慢性維持透析を行った場合  
イ 4時間未満の場合 2,040点  
ロ 4時間以上5時間未満の場合 2,205点  
ハ 5時間以上の場合 2,340点
- 慢性維持透析濾過（複雑なものを行った場合）2,255点



○改定

- 慢性維持透析を行った場合  
イ 4時間未満の場合 2,030点(改)  
ロ 4時間以上5時間未満の場合 2,195点(改)  
ハ 5時間以上の場合 2,330点(改)
- 慢性維持透析濾過（複雑なもの）を行った場合 2,245点(改)

※いずれも▲10点

※人工腎臓については、診療報酬が引き下げられました。

時間区分などについて変更はありません。全腎協が要望してきた「オンラインHDFの透析治療において、治療に必要な時間が十分確保できるよう診療報酬の技術料でオンラインHDFの時間区分について新規設定して下さい。」「長時間透析及び深夜透析（オーバーナイト）を希望する患者が治療を受けられるよう、診療報酬の技術料にある時間区分において、6時間以上の透析時間区分点数を新規設定して下さい。」については、実現できませんでした。

○その他手術等

- ①内シャント又は内シャント設置術 18,080点から18,080点
  - ②経皮的シャント拡張術、血栓除去術 18,080点から18,080点
  - ③関節鏡下手根管解放手術 12,000点から10,400点
- ※▲1,600点

今回改定で新たに糖尿病透析予防指導管理料（特定地域）が新設されました。

## （新）糖尿病透析予防指導管理料（特定地域）175点

※特定地域とは医療資源の少ない特定地域で二次医療圏のことを指します。

〔東京・二次医療圏〕

大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

以上の事から人工腎臓（1日につき）4時間以上5時間未満の場合を見ますと、現行2,205点から2,195点に改定され10点（100円）下がりました。また、慢性維持透析患者外来医学管理料55点（550円）と大幅に下がっていることを考えると、検査の頻度や包括されることによりいち早く血液検査や画像診断等で知りえる症状も検査の包括で悪化してからの処置になる可能性も考えられるので非常に危惧するところではあります。また、ダイヤライザー・材料価格等は今後の情報となります。

引き続き透析の診療報酬については厳しい条件にあることは変わりなく、今後も動向を見守っていく必要があります。

（事務局長・岸里）



協力 渡辺好徳・渡辺典史







## 「ご寄付お礼」

扶桑薬品工業（株）  
○東京第一支店様（2月～3月）  
ご寄付ありがとうございます。

## 「青い鳥葉書（切手） ご寄付一覧」

【患者会】  
・柳原健腎会  
・いちよう会  
・東葛クリニック小岩  
（3月31日現在まで分、敬称略・  
順不同）  
葉書・切手等は沢山使用しますので  
いつでもご寄付受け付けており  
ますので、今後共よろしくお願  
い  
します。  
～ありがとうございました～

## 「東京都腎臓移植組織適合 性検査費（HLA検査費） 助成事業のご案内」

1. 対象者  
都内に住所を有し、人工透析を受  
けている慢性腎不全の方で、献腎

移植を希望するため、社団法人日  
本臓器移植ネットワークへの登録  
をする方（社団法人日本臓器移植  
ネットワークへの登録に必要な腎  
臓移植組織適合性検査費が一部助  
成されます）。

## 2. 助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一  
部（平成26年度については10,  
000円とします）。

## 3. 書類提出及び問い合わせ先

東京都福祉保健局 保健政策部  
疾病対策課 献腎移植対策係  
所在地 〒163-0008 東京都  
新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5320-4506  
FAX 03-5388-1473

## 東京都と協定を締結しているHLA検査センター

検査センター名	所在地	電話番号
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	東京都港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111
東京医科大学 八王子医療センター	東京都八王子市館町1163	042-665-5611
東京女子医科大学病院	東京都新宿区河田町8-1	03-3353-8111
東邦大学医療センター 大森病院	東京都大田区大森西6-11-1	03-3762-4151

## その他のHLA検査センター（都内及び近隣3県）

検査センター名	所在地	電話番号
昭和大学病院	東京都品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000
埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県日高市山根1397-1	042-984-4111
埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県川越市鴨田辻道町1981	049-228-3400
独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	千葉県千葉市中央区仁戸名町673	043-261-5171
東海大学医学部付属病院	神奈川県伊勢原市下糟屋143	0463-93-1121
北里大学病院	神奈川県相模原市南区北里1-15-1	042-778-8111
公立大学法人横浜市立大学附属 病院	神奈川県横浜市金沢区福浦3-9	045-787-2800

## 編集後記

○第9回総会及び第4回大会に向  
けて準備を鋭意進めているところ  
です。最近を振り返ると40年以上  
の長期透析患者が全国的に見ても  
亡くなってきていること。大変だ  
った時代の最後の生き証人として  
困難な時代のお話を長期透析患者  
の方から聞いてきましたが、患者  
会活動が衰退しないよう、これか  
ら東腎協の歴史を伝えるべき広  
報をしなければいけないと、再認  
識しているところです。

（岸里）

○今月は、「世界腎臓デー」「都民  
のつどい」「国会請願」と恒例の  
行事が盛りだくさん…。いまや国  
民病ともいわれるCKD、透析患  
者が年々増加していることをヒシ  
ヒシと感じる。われわれの活動の  
一つである、こうした患者を少な  
くする、悲しい辛い思いを一人  
でも減らしていくことこの意義  
がますます重要になってきている。  
新年度から「編集委員会」がH  
P委員会と合併し「広報委員会」  
となります。機関誌「とうじんき  
よう」と「HP」を効率的に融合

# 今後の活動予定

- 4月26～27(土・日) 全腎協第110回理事会(東京)
- 4月27日(日) 全腎協第110回理事会(東京)
- 第97回理事会(C3)
- 5月17日(土) 全腎協第54回総会
- 5月18日(日) 2014年度全腎協全国大会inせぬき(香川県)
- 5月25日(日) 第98回理事会(C3)
- 6月12～15(木～日) 第59回日本透析医学会学術集会・総会(神戸国際会議場)
- 6月21～22(土・日) 全腎協臨時理事会(東京)
- 6月22日(日) 第99回理事会(C3)
- 6月29日(日) NPO東腎協第9回総会(障害者福祉会館・A1～3)
- 7月6日(日) NPO東腎協第4回大会(大森東急イン・フォレストルーム)
- 7月12～13(土・日) 全腎協・事務局長会議
- 7月19～20(土・日) 全腎協・関東ブロック会議(山梨県)
- 7月26～27(土・日) 全腎協・関東ブロック青年交流会inとちぎ(栃木県・大江戸温泉物語日光霧降栃木)
- 7月27日(日) 第100回理事会(C3)
- 8月12～15(火～金) 事務局夏季休業
- 8月24日(日) 第101回理事会(C2)
- 8月30～31(土・日) 全腎協・青年研修会(東京)
- 9月27～28(土・日) 全腎協第111回理事会(東京)
- 9月28日(日) 第102回理事会(C3)
- 10月5日(日) 第34回臓器移植普及推進キャンペーン
- 10月26日(日) 第103回理事会(未定)
- 11月8～9(土・日) 全腎協・相談員研修会(東京)
- 11月22～23(土・日) 全腎協第55回総会(東京)
- 11月23日(日) 第104回理事会(未定)
- 12月21日(日) 第105回理事会(未定)
- 12月26日(金) 事務局仕事納め

して、新たな広報活動を目指していきたいと思います。「HP」では、携帯端末からもアクセスできるようにしたいと思います。

会員の皆様もご要望、ご意見などお寄せ下さい。

(板橋)

## 表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表紙に、会員の皆さんの作品を掲載

## 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会賛助会員 入会のお願ひ

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から41年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもいらつしやいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、

いたします。絵画、陶芸、手芸、料理、…何でも構いません。

**募集時期** 随時募集

**応募方法**

出来るだけ作品を写真撮影して、プリントと作品コメント(400字以内)を添えて、封書で東腎協事務局(東京都豊島区南大塚2-40-11富士大塚ビル2F)へ郵送してください。

**謝礼** 採用の際には薄謝(図書券)を呈呈いたします。

患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費・個人年額5,000円、団体年額1口10,000円/1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「東腎協」に掲載させていただきます(但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます)。

選ばれているのには理由があります。  
頼れるコエンザイムQ10・  
L-カルニチンサプリ...

**新**

# Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

**コエンザイム Q10** 60mg\*

**L-カルニチン** 120mg\*

**ビタミンE** 15mg\*

カラダに♡  
とって大切です。

でも、加齢とともに不足します。

\*配合栄養成分 (2粒当り)

「透折/バンザイ」であなじみの  
山猫先生も  
毎日飲んでます!



こんなことで  
お困りでは  
ありませんか?

倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

**イーホープペプセル**がお届けする

基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の  
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し  
販売価格 **2,800**円

60粒入り1箱当り

★一家族  
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

- ★ペプセルシリーズは定価の5%引きで毎月発送致します。
- ★全て税、送料込み(離島を除きます)

商品の求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00

フリーダイヤル **0120-266-910**

不老(フロー) Q10(キューテン) FAXで **078-231-0330**

ネットで <http://www.clubshop.jp/>

**イーホープペプセル** 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803 平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。

## 腎臓病患者の ための相談のご案内

無料 0120-088-393  
または 03-5395-2631

◎事前に電話で下記日時をご予約下さい。(予約制)

◎予約受付時間:月~金(土日休日)  
午前10時~午後6時

療養生活の不安や疑問、体調がすぐれない、腎臓病の悩みやご家族の方々の話を各分野の専門家が対応します。お気軽にお電話ください。

**生活・福祉** 午後3時~7時  
担当:医療ソーシャルワーカー  
(一回30分)

5月9日(金)・29日(木)  
6月13日(金)・26日(木)

**栄養・食事** 午後2時~4時15分  
担当:栄養管理士(一回20分)

5月1日(木)・16日(金)  
6月5日(木)・20日(金)

**こころの相談** 午後3時~7時  
担当:認定心理士(1回30分)  
5月22日(木)・6月19日(木)  
(社)全国腎臓病協議会

\*当会では個人情報保護法に準拠し相談業務を行っています。

今回の絵柄を描くの  
に際し、山に入り竹を  
選ぶことから始まります。  
この竹を選ぶ時から、  
頭の中の創作が始まり  
ます。

竹には木の持っている  
年輪というものがなく、  
竹の一本一本がすべて違  
った顔をして想像を掻き  
立てます。5年以上の竹  
で、長さは15m、重さは  
300kgでも下から4m  
くらいしか使えません。

### 表紙のことは

吉澤 正雄さん  
(透析歴10年・62歳)

新小岩クリニック友の会  
(船堀)



その竹に特殊な加工を  
施し、約半年間寝かし  
ます。

いよいよ絵を掘る訳  
ですが、今回のような  
絵柄を掘る竹を選ぶのが  
大変でした。百人一首を  
見ながら絵を描くので  
が、字を書くのは4通り  
の掘り方があり、筆文字  
なのでさらに難しくなり  
ます。自己満足ですがう  
まくかけたと思います。

嬉しい支援・美味しい食事・安心の見守り  
暖かい柱でああなたの笑顔を守ります。

★透析患者様専用★

生活支援サービス付高齢者専用賃貸住宅

# つくしんぼ壹番館・弐番館

入居者募集中!

生活の不安を抱えている高齢者の方、介護疲れを感じている同居家族の方々を支えます。 \*所在地：越谷市赤山町2-235-1

- つくしんぼ
- 自分らしく過ごせる
- 協力病院への透析送迎
- 安心の見守り
- 透析食を提供
- 安価なお家賃設定
- デイサービス
- リハビリ・ソフト整体・炭酸浴を利用できます。

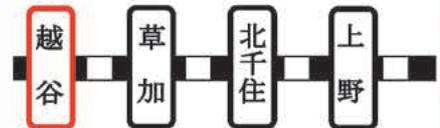
★協力病院  
3市5施設

<埼友会>  
草加市：埼玉草加病院  
脳健クリニック  
川口市：埼玉川口クリニック

<医山会>  
越谷市：埼玉クリニック  
越谷泌尿器科内科

東京の  
ベストタウン越谷市!!

★日比谷線 上野駅から



30分!!

資料請求・見学希望などお問い合わせはお気軽に!

事業主体：有限会社メディトピア（埼玉グループ）

〒340-0046 埼玉県草加市北谷1-23-5

**TEL:048-944-1667** 受付時間 AM9:00~PM6:00

Homepage : <http://www.meditopia-saitama.com>

Ueno Dialysis Clinic  
医療法人社団湖聖会 銀座医院

# 上野透析クリニック

～隔日透析・長時間透析でより良い生活を～



心和む、不忍池を眺めながらの透析治療



- 透析時間  
午前透析 8:30～14:30  
午後透析 15:30～21:50  
第2.4日曜日 8:30～13:00
- 送迎サービス致します

透析生活でお困りの事がございましたら  
お気軽にお問い合わせ下さい  
日本看護協会認定看護師(透析看護分野)  
がご相談に応じます

医療法人社団 湖聖会 銀座医院 上野透析クリニック

〒110-0005 東京都台東区上野2-12-20 NDKロータスビル3F

TEL:03-5817-8770 FAX:03-5817-8771

URL:<http://www.uenotouseki-c.jp>

E-mail:koseikai@uenotouseki-c.jp